



# 2003年3月期（第70期） 決算説明会

株式会社フジユニバンス

2003年 6月 19日

<http://www.uvc.co.jp/>



# 目次

---

- ・ 2003年3月期決算の概要
- ・ 2004年3月期業績予想
- ・ 2003年度の重点課題と取組内容
- ・ 新たな経営体制の確立



# ・ 2003年3月期決算の概要




# 連結対象子会社

会社名		資本金	当社の 持株比率	主要な事業内容
国内	株式会社アクロス	25百万円	100%	自動車部品の製造・販売
	株式会社遠州コム	10 "	100%	二輪部品のメッキ
	株式会社ウエストレイク	15 "	100%	容器洗浄及び物品販売
	富士協同運輸株式会社	10 "	40%	輸送事業
海外	ユニバンスINC.(米国)	19百万US\$	100%	自動車部品の製造・販売
	PT.ユニバンスインドネシア	6百万US\$	75%	同上

持分法適用会社

アイエス精機株式会社 (持ち株比率13.3%)  
株式会社富士部品製作所 (持ち株比率13.6%)



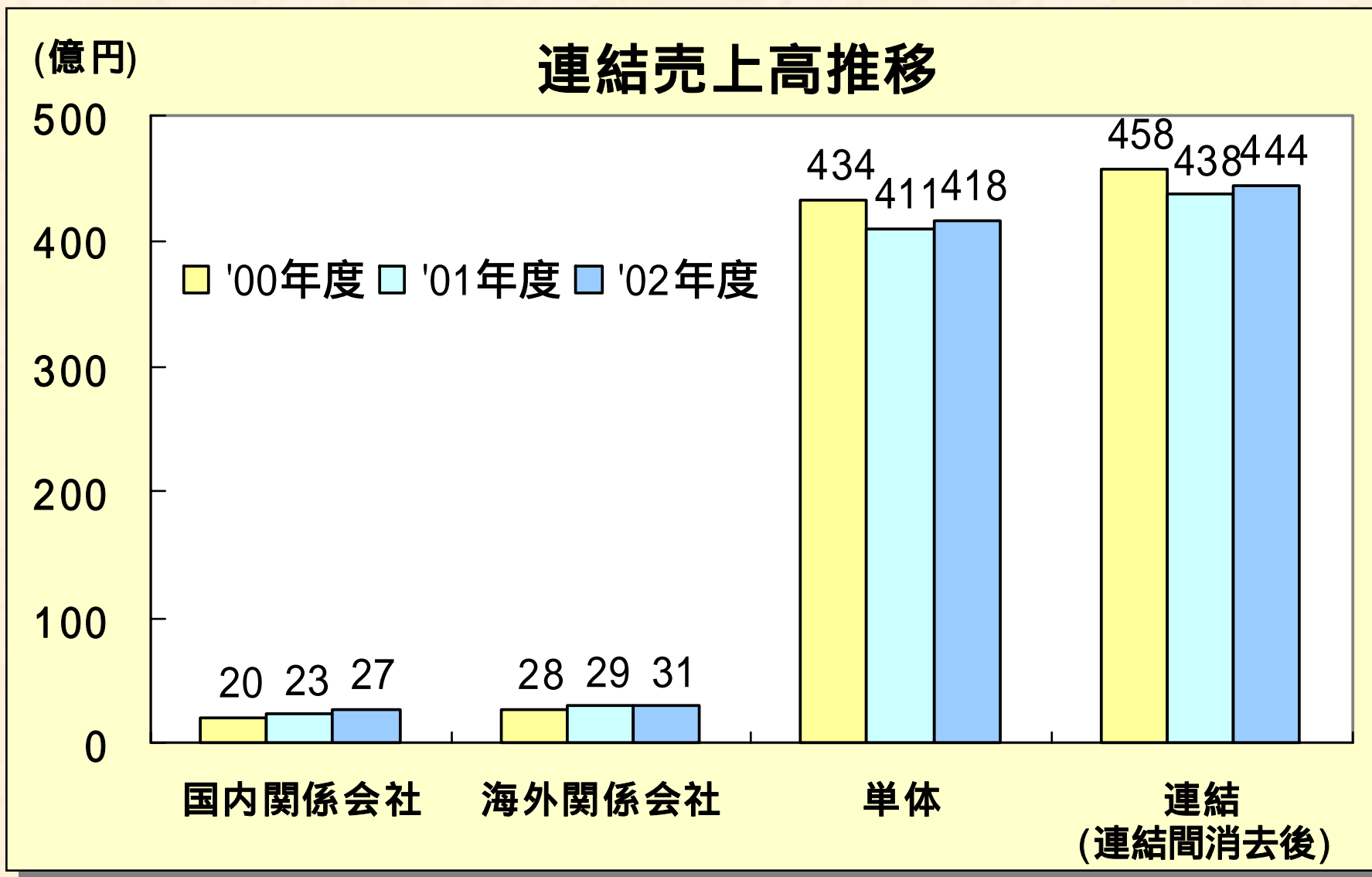
# 経営成績

(単位：億円)	2001年度			2002年度		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	438.0	411.8	1.06	444.0	418.3	1.06
			計画	430.0	400.0	1.08
営業利益	6.9	4.5	1.53	8.7	4.8	1.81
			計画	9.5	6.5	1.46
経常利益	8.4	6.4	1.31	11.3	7.4	1.53
			計画	10.0	8.5	1.18
当期利益	3.7	2.3	1.61	5.4	1.9	2.84
			計画	4.5	2.5	1.80

連結 経常利益ベース：増収増益 当期利益ベース：増収増益  
 単体 経常利益ベース：増収増益 当期利益ベース：増収減益

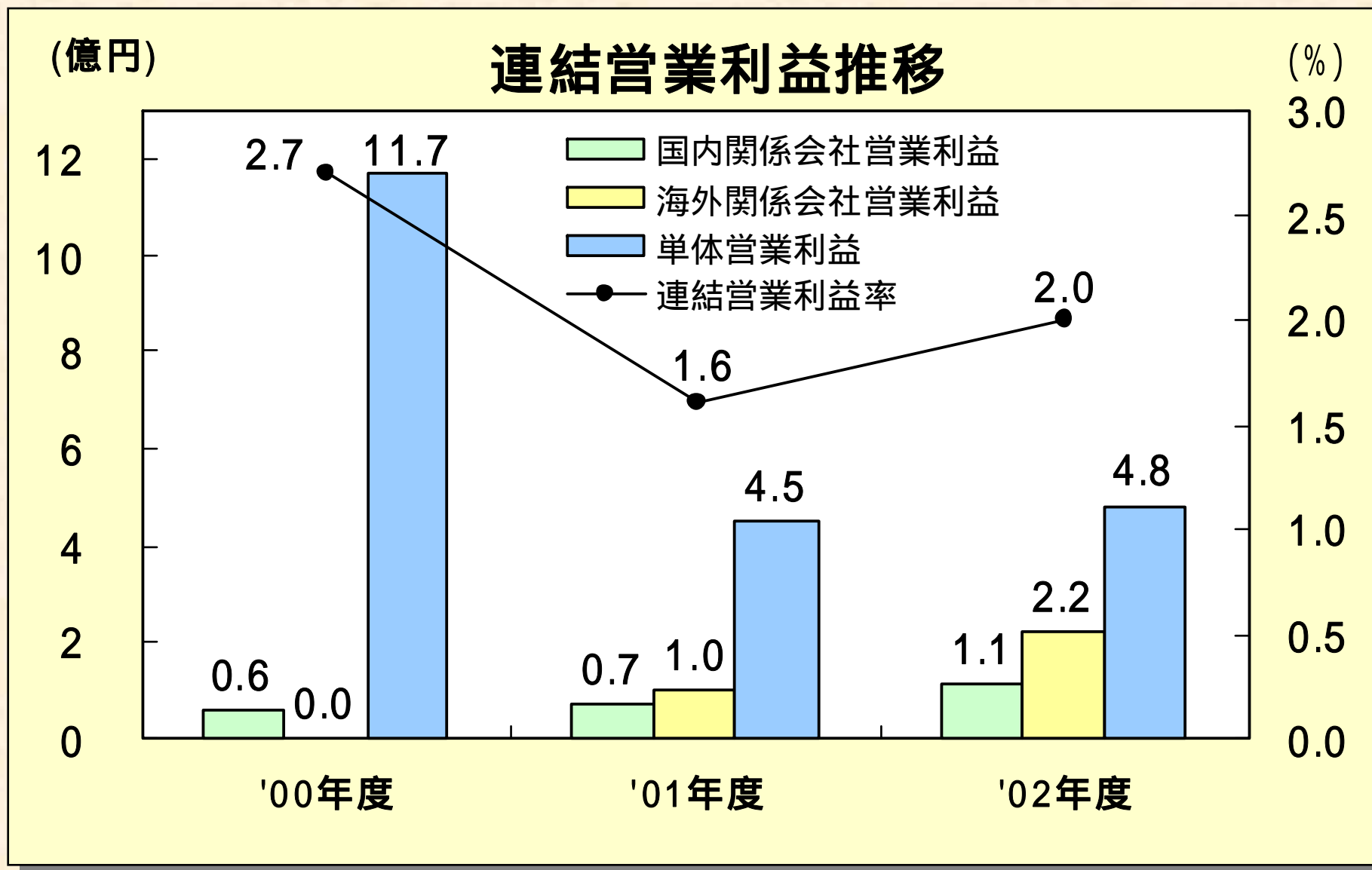


# 経営成績 連結売上高



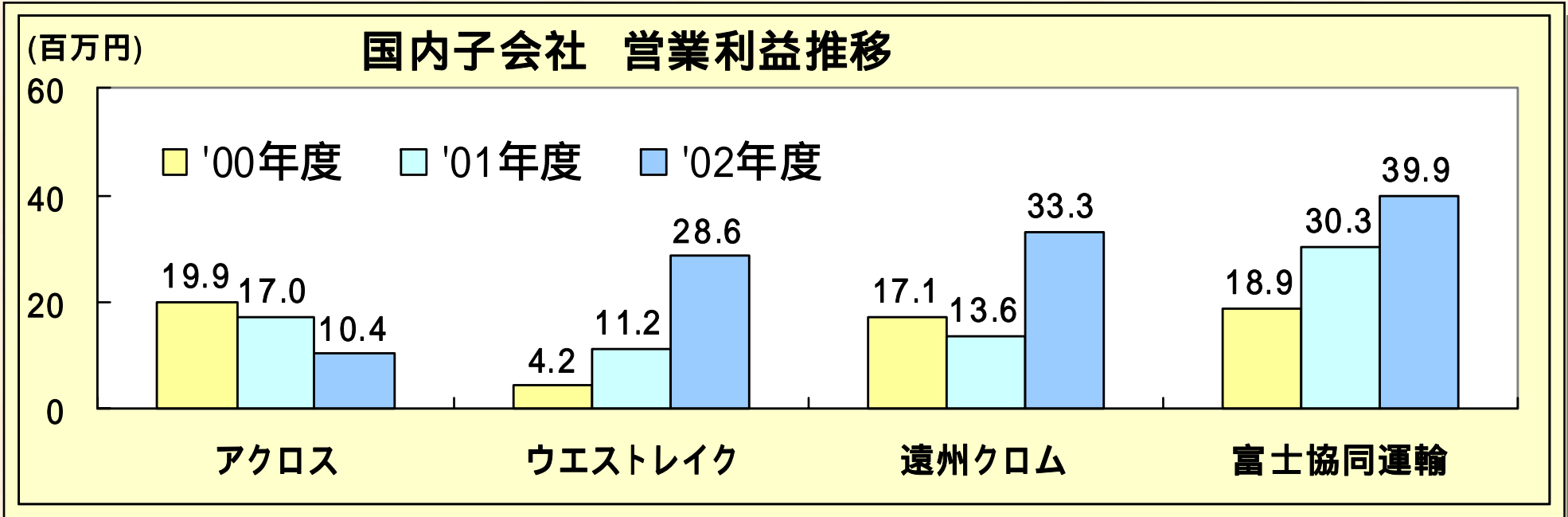


# 連結営業利益推移





# 国内子会社の利益状況



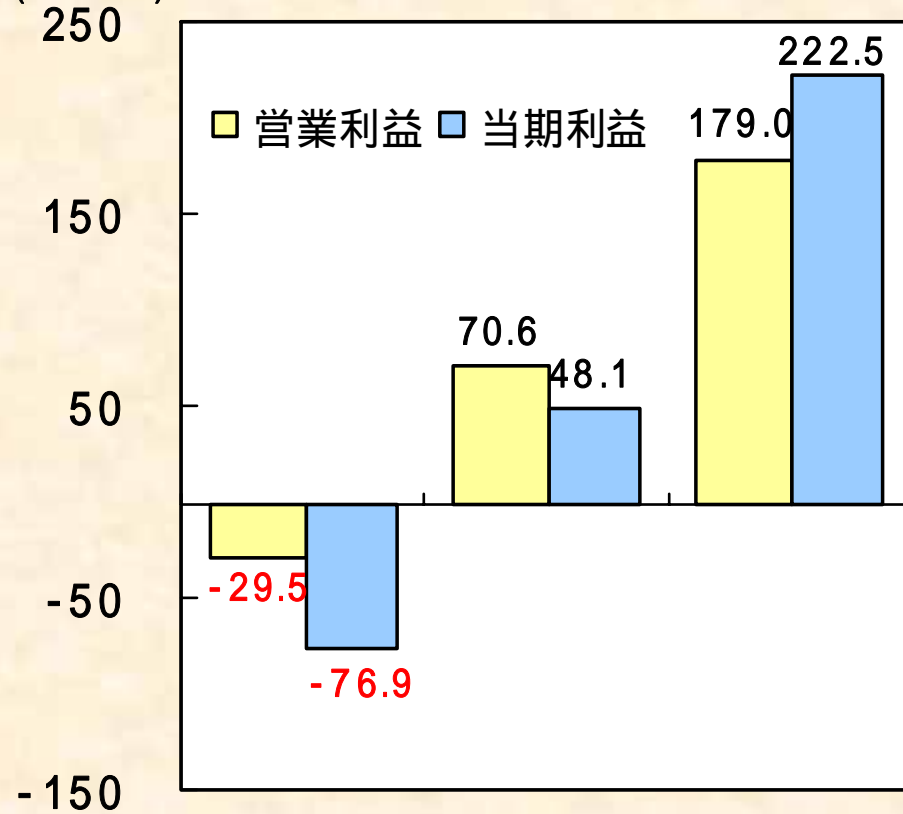
- ・ ウエストレイク : 委託業務の拡大
- ・ 遠州クロム : ヤマハ発動機(2輪)、スズキ(2輪)向け部品のメッキ増加
- ・ 富士協同運輸 : 物流業務拡大(帰りの活用等)



# 海外子会社の利益状況

## 米国 UNIVANCE INC.

(百万円)

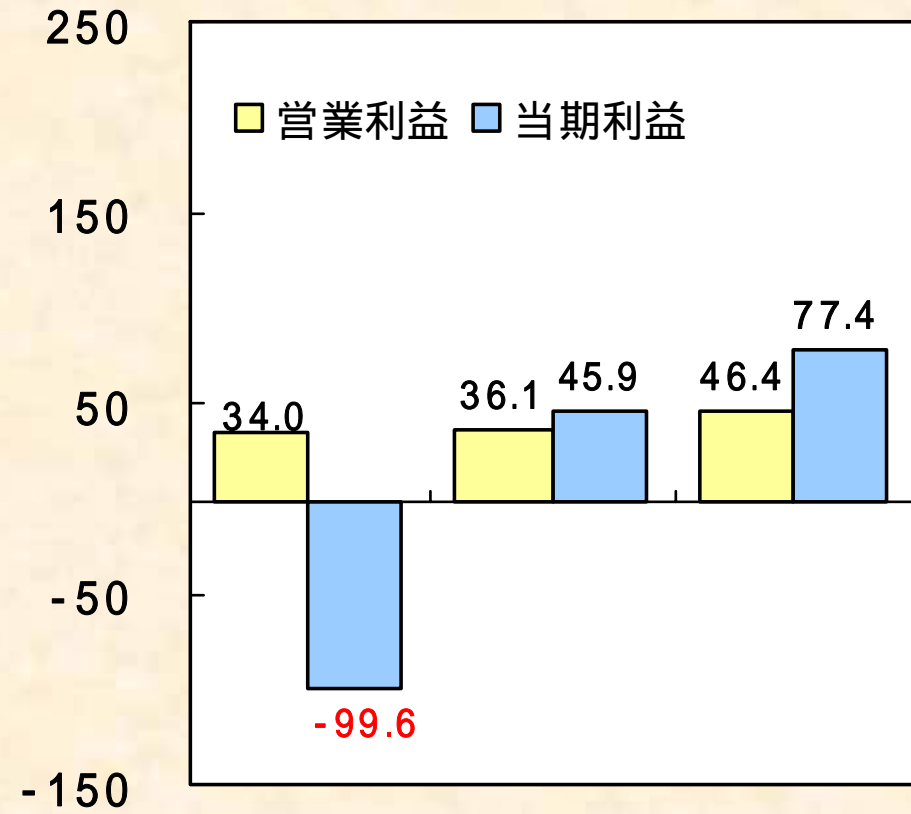


'00年度 '01年度 '02年度

**営業利益** 売上増：41百万円、円安効果：59百万円、  
合理化：8百万円  
**当期利益** 支払利息減：31百万円、  
税効果会計導入：100百万円

## P.T.UNIVANCE INDONESIA

(百万円)

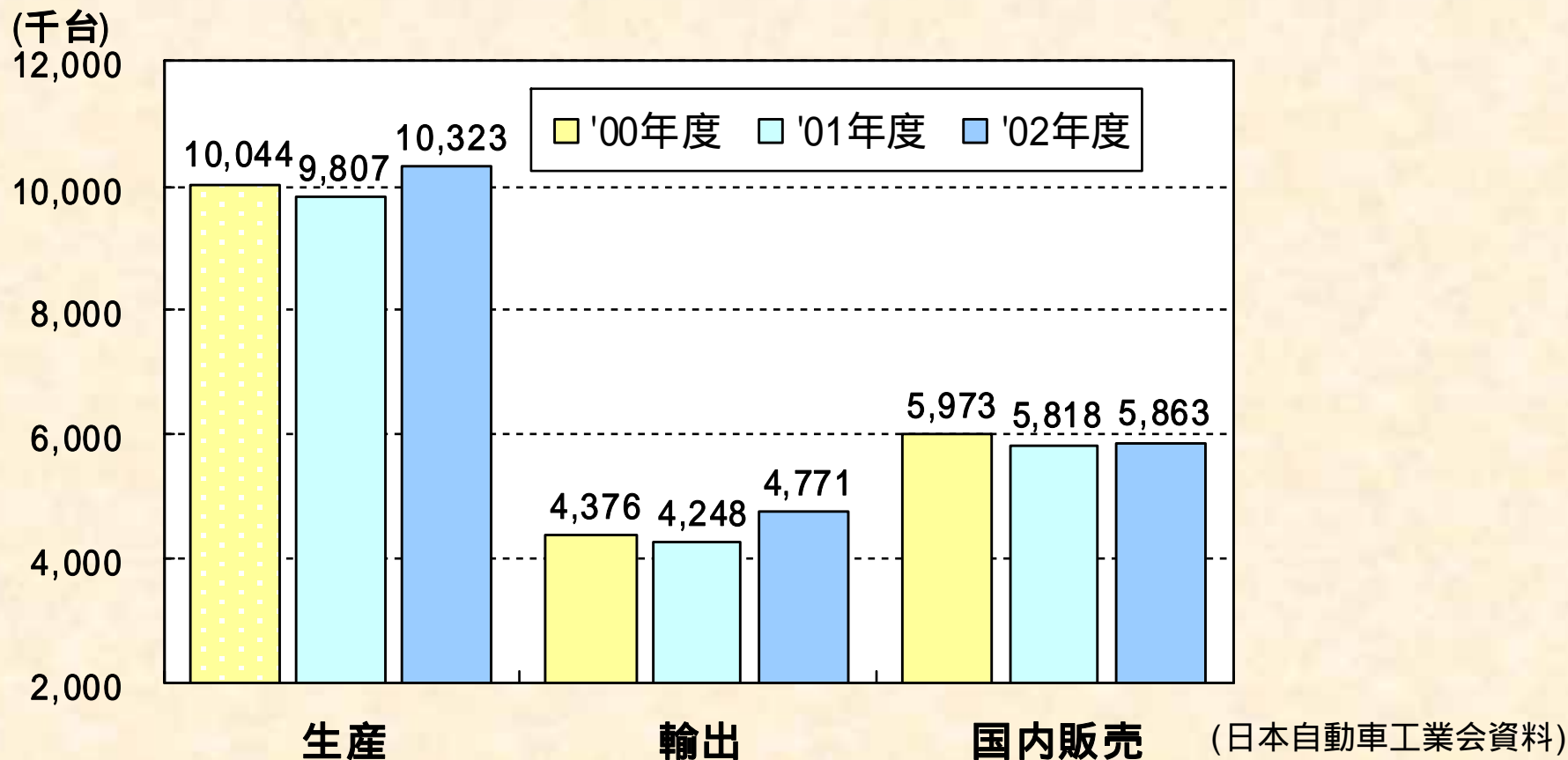


'00年度 '01年度 '02年度

**営業利益**  
売上増：10百万円  
**当期利益**  
親子借入金為替評価益：30百万円



# 国内の自動車生産、輸出、販売状況

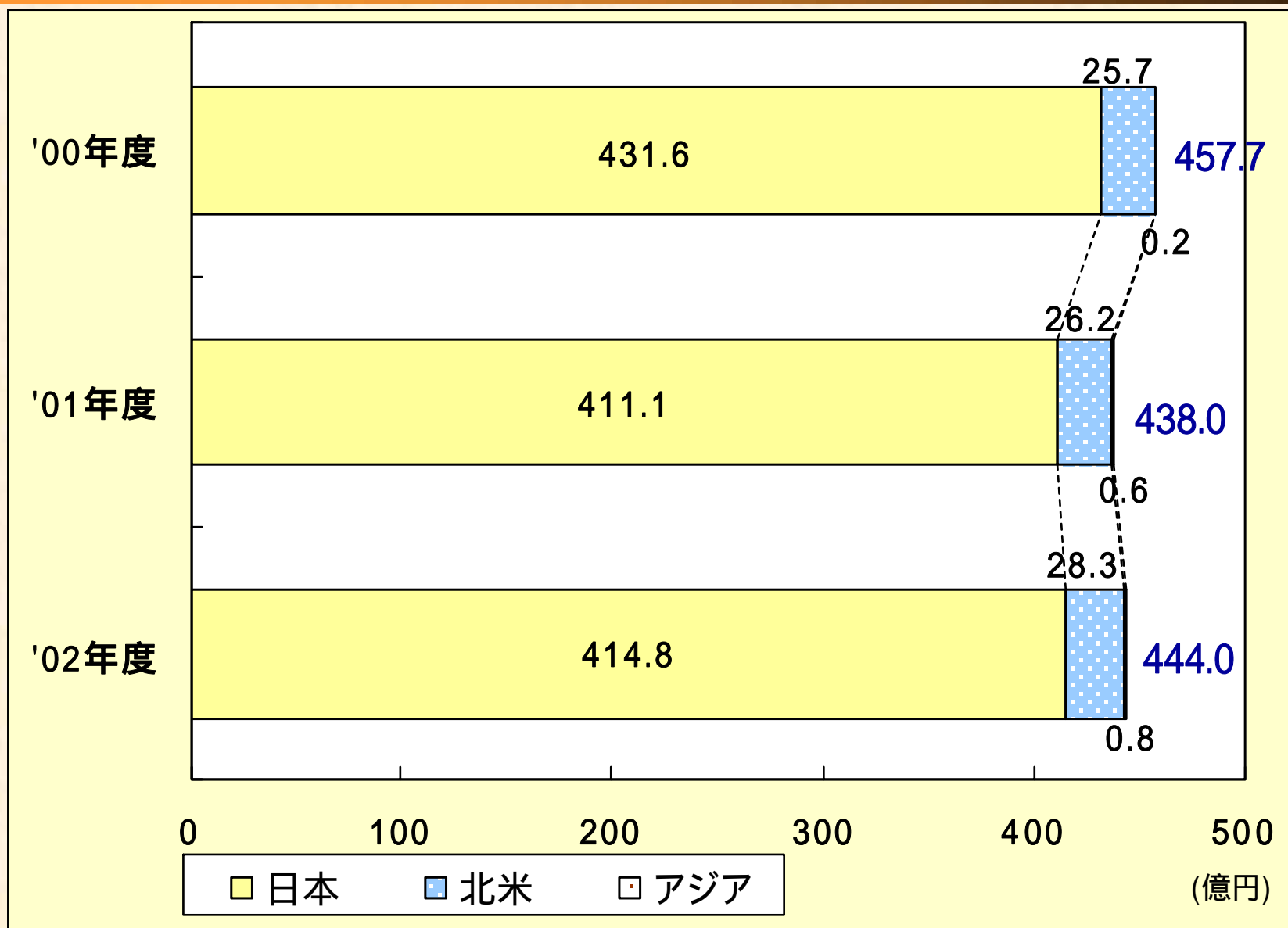


国内販売:0.7%増、輸出:12.3%増  
国内市場の微増と海外市場の販売好調

国内生産は、前年同期比5.2%増と2年ぶりの1,000万台回復

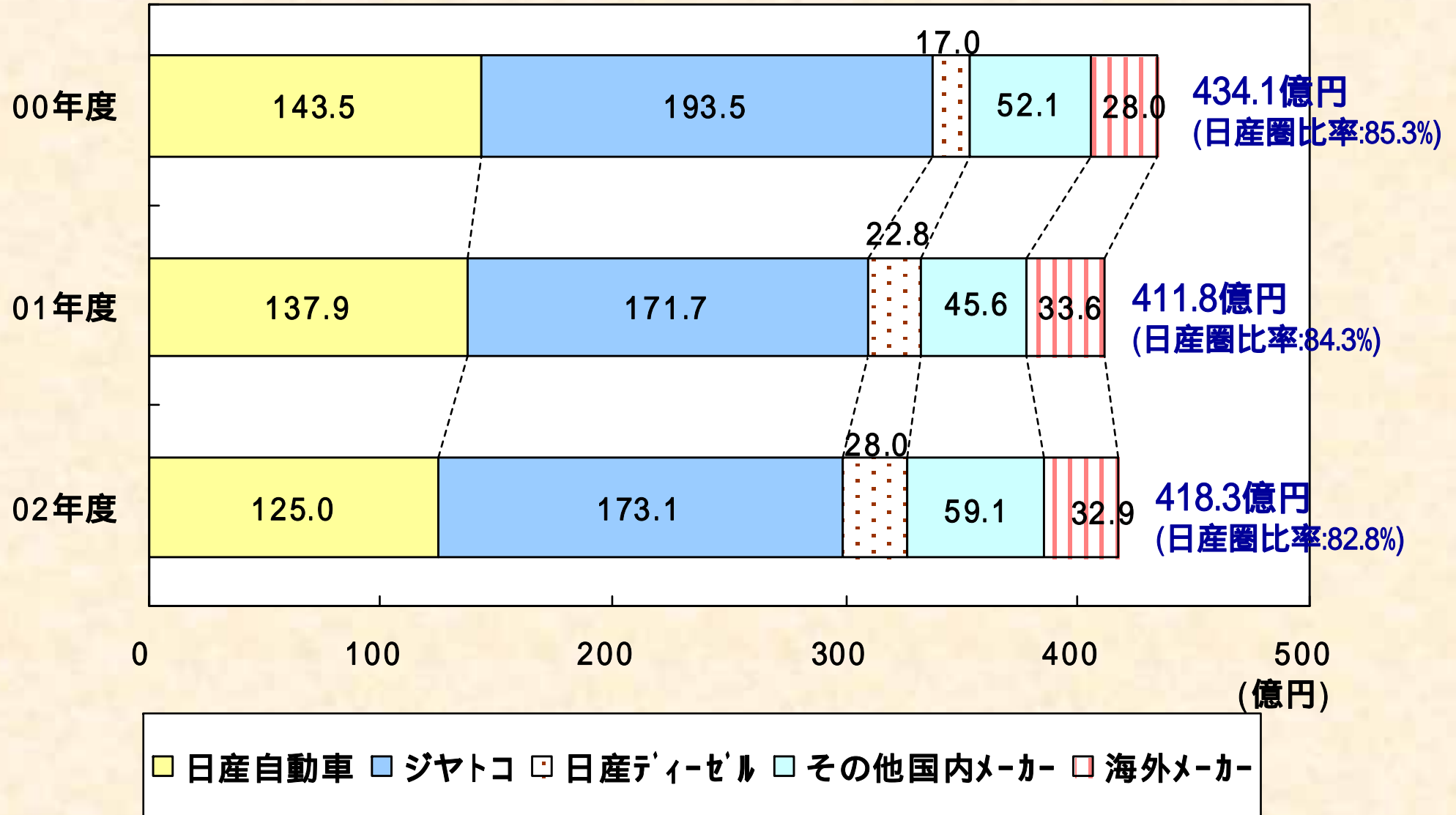


# 連結売上高比較(地域別)

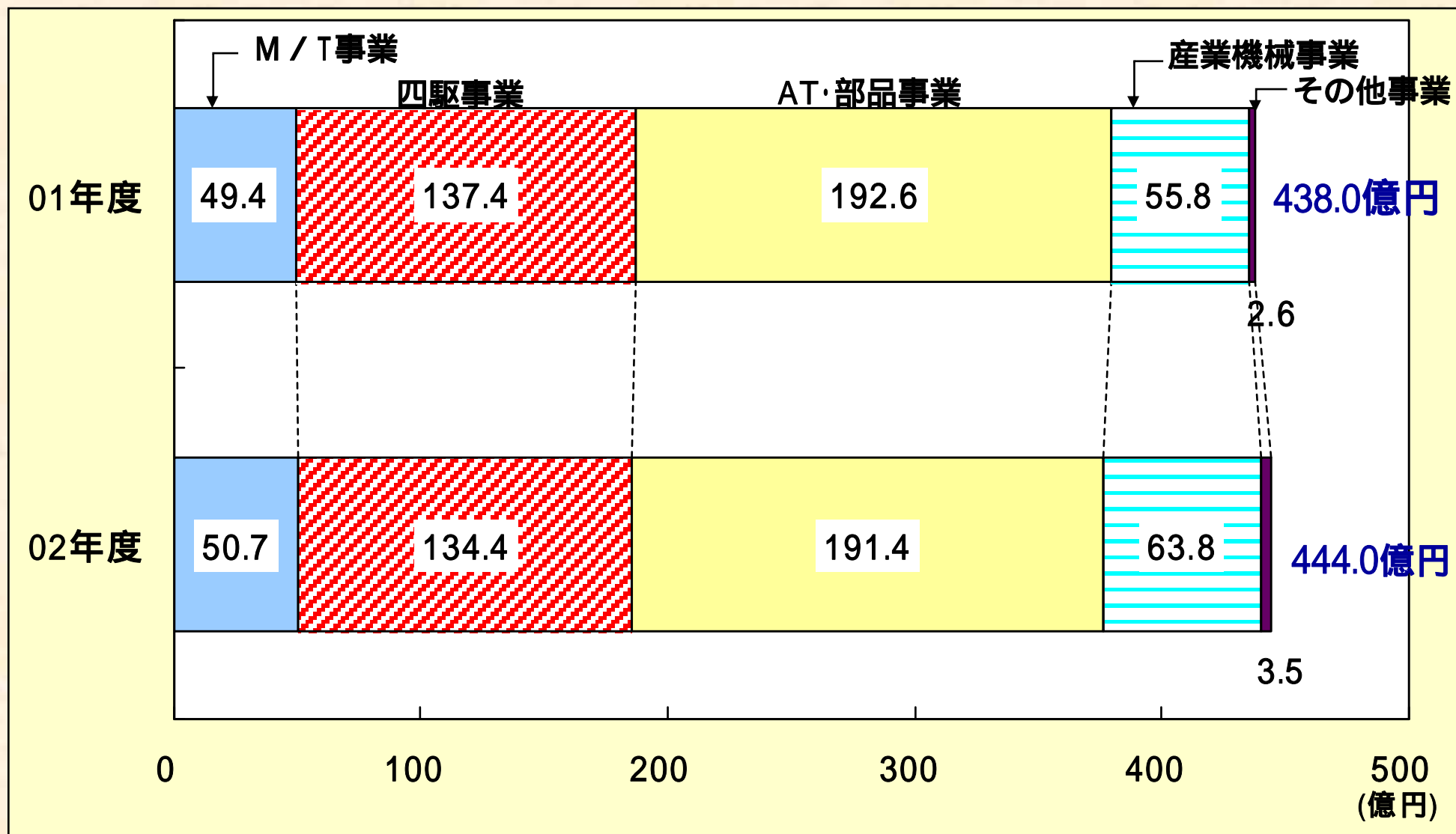




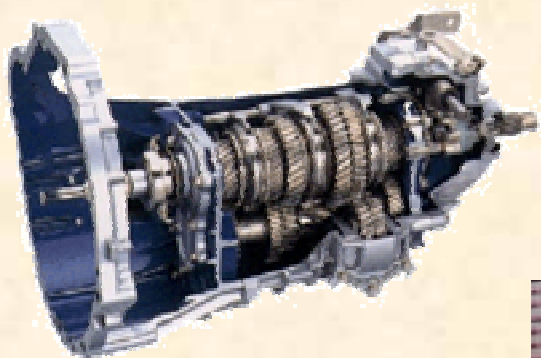
# 取引先別売上高比較(単体)



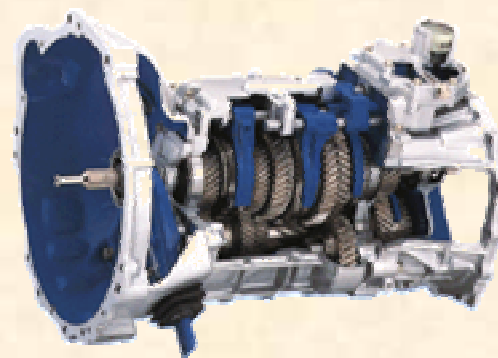
# 連結事業別 売上高比較



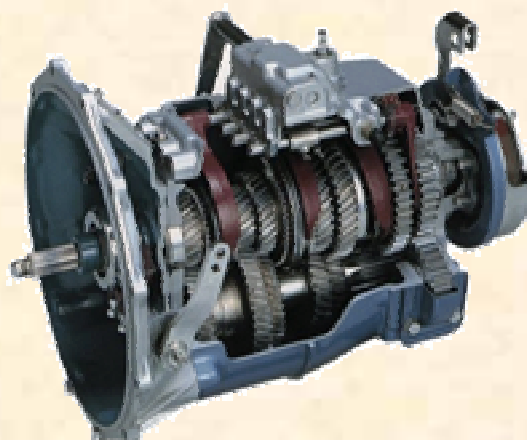
# M / T事業 主要製品



小型トラック用



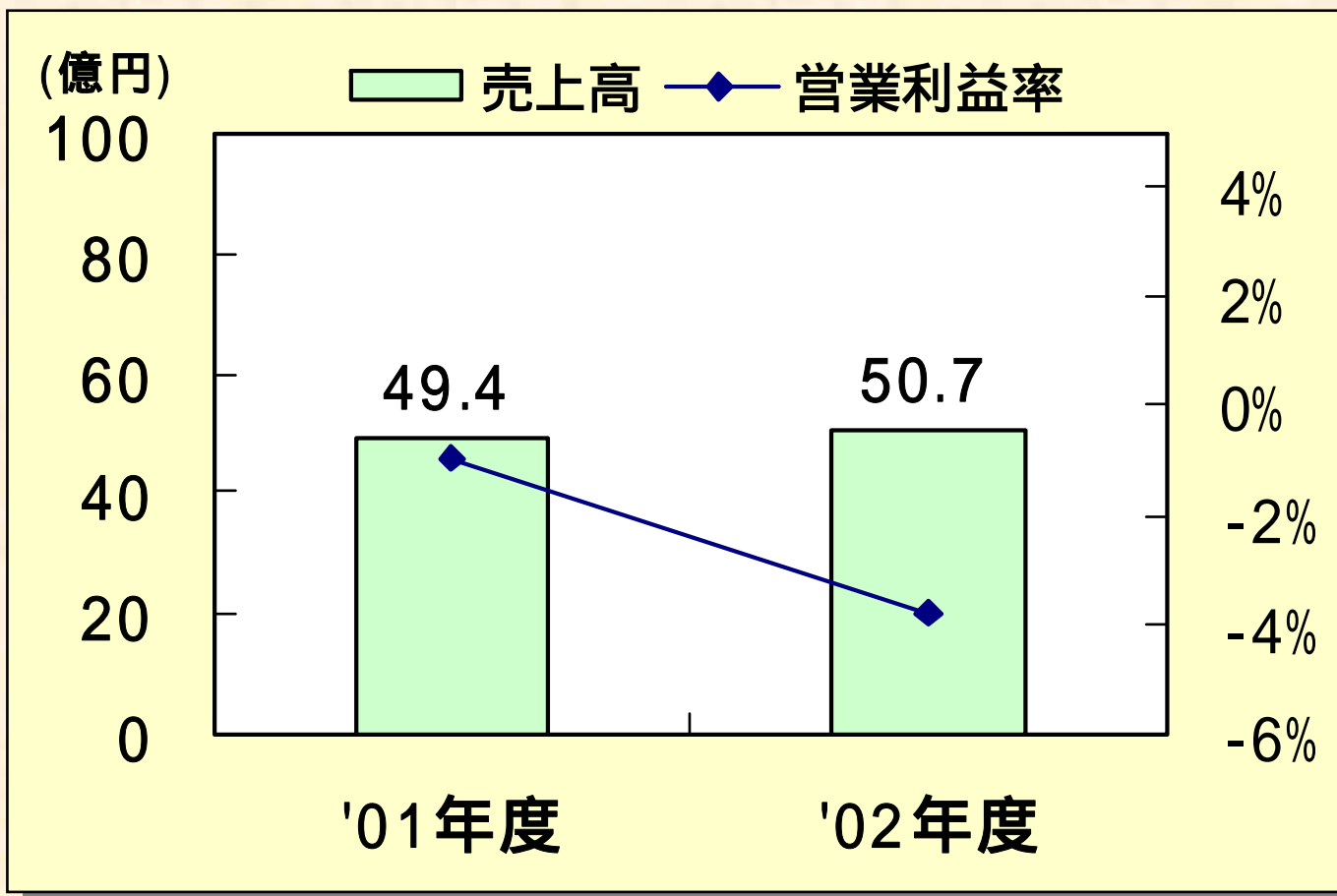
R V車用



中型トラック用

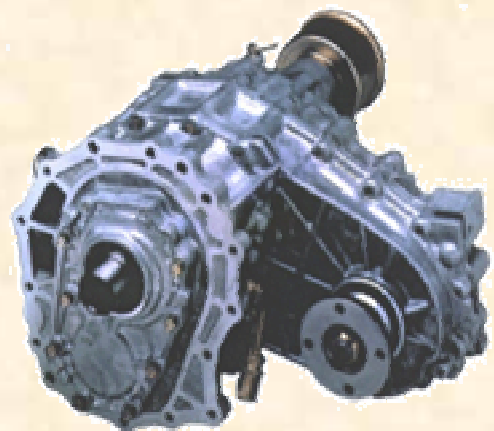


## 事業別売上高(連結) M / T事業

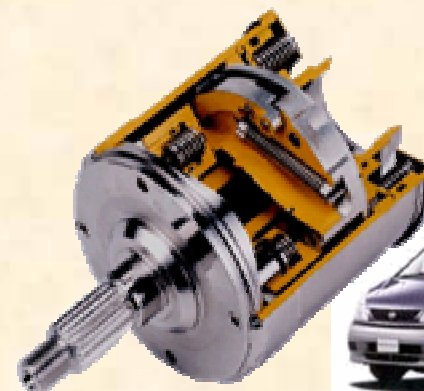


- ・ SUV車用のM / T輸出の微増

# 四駆事業 主要製品



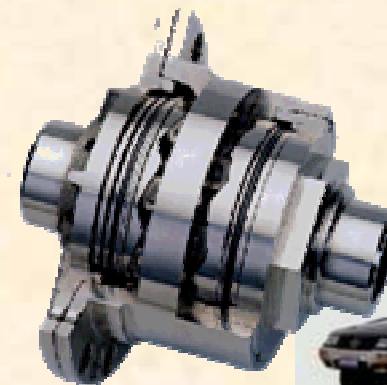
SUV用トランスファケース



駆動力配分装置 AXC



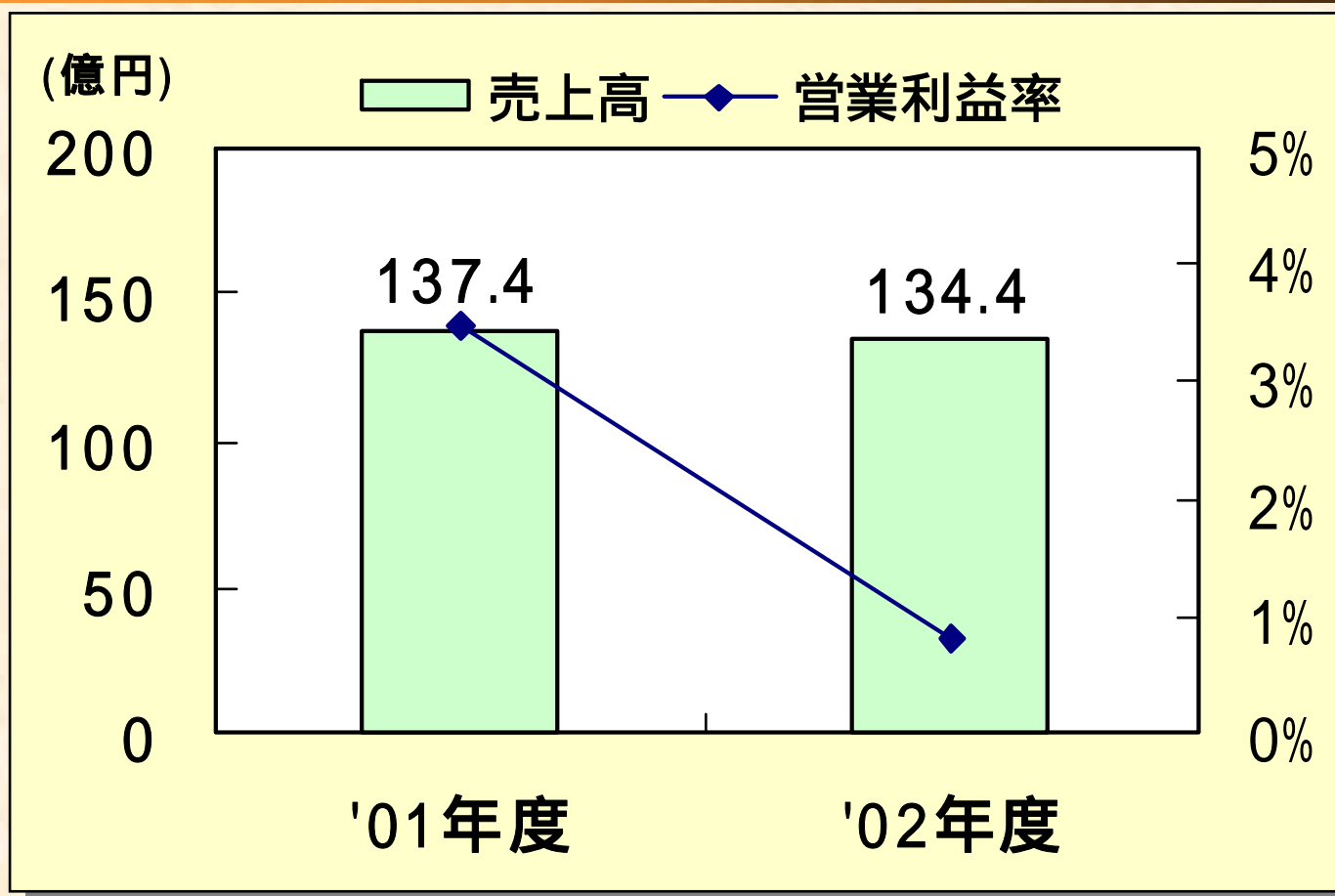
四輪バギー用デフユニット



トルク感応型カム式LSD



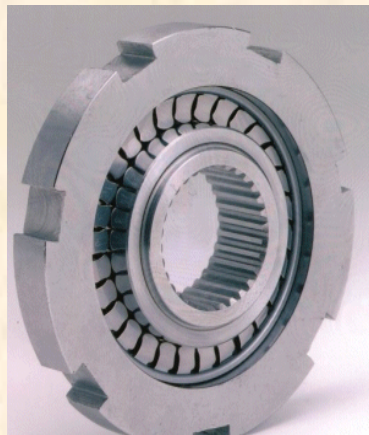
## 事業別売上高(連結) 四駆事業



- ・日産自動車の北米向けSUV車用トランスファユニットの増加
- ・三菱自動車向けフルタイム駆動力配分装置の新規受注
- ・米国景気の減速による四輪駆動車の販売減



# AT・部品事業 主要製品



オーバーランニングクラッチDCF



AT部品



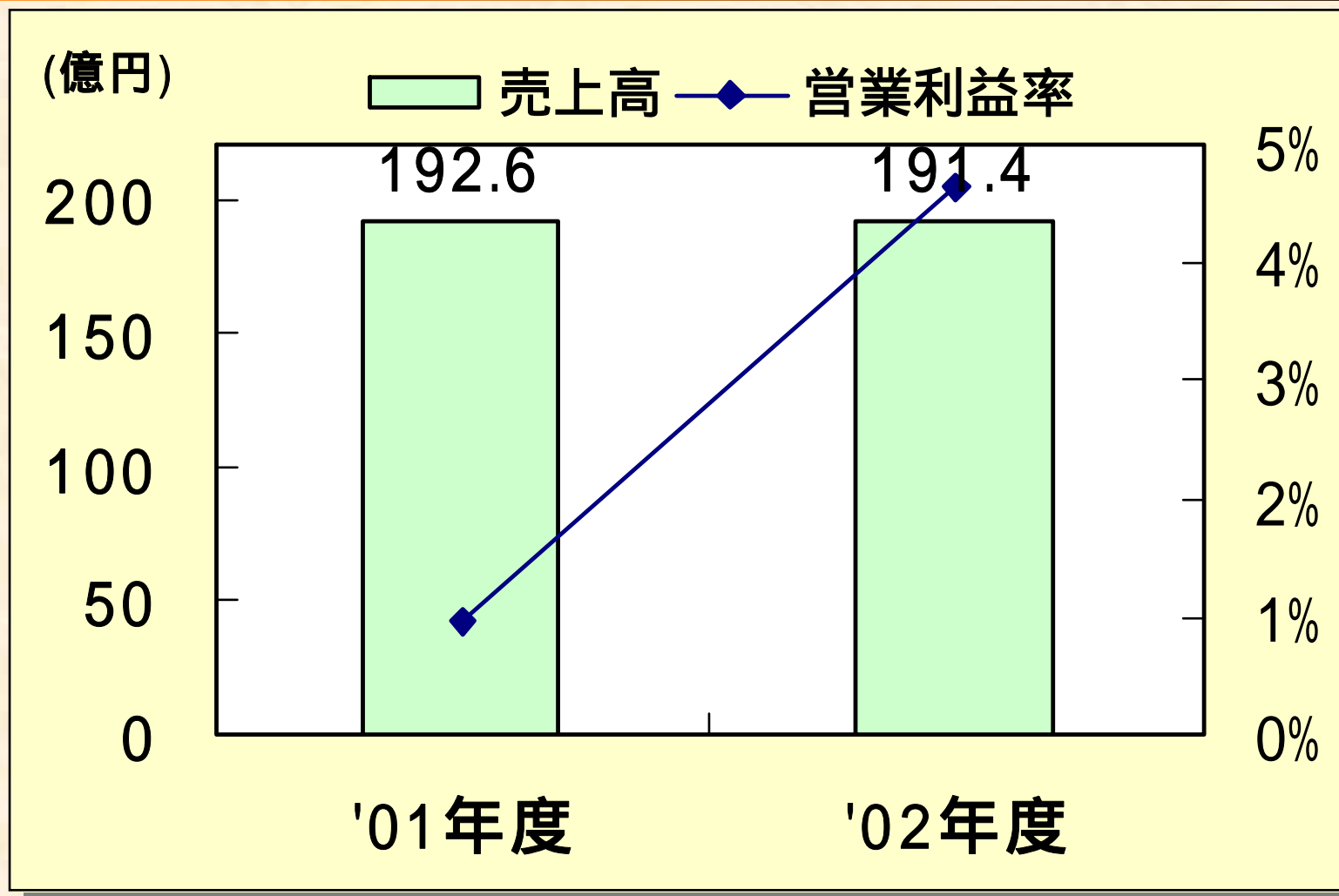
M/T部品



デフ、アクスル部品

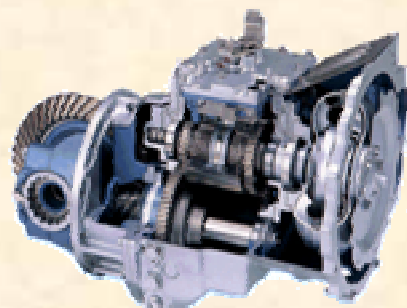


# 事業別売上高(連結) AT・部品事業



・ 車両販売増加に伴うジャトコATユニットパーツの増加

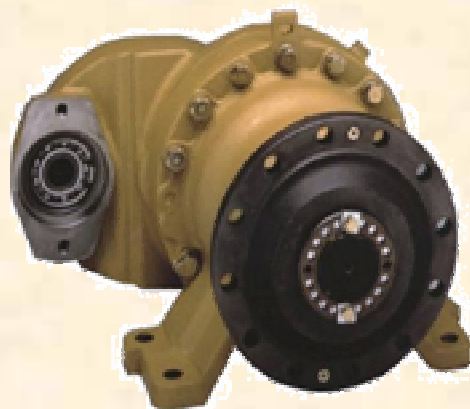
# 産業機械事業 主要製品



フォークリフト用トランスミッション



農業トラクター用トランスミッション



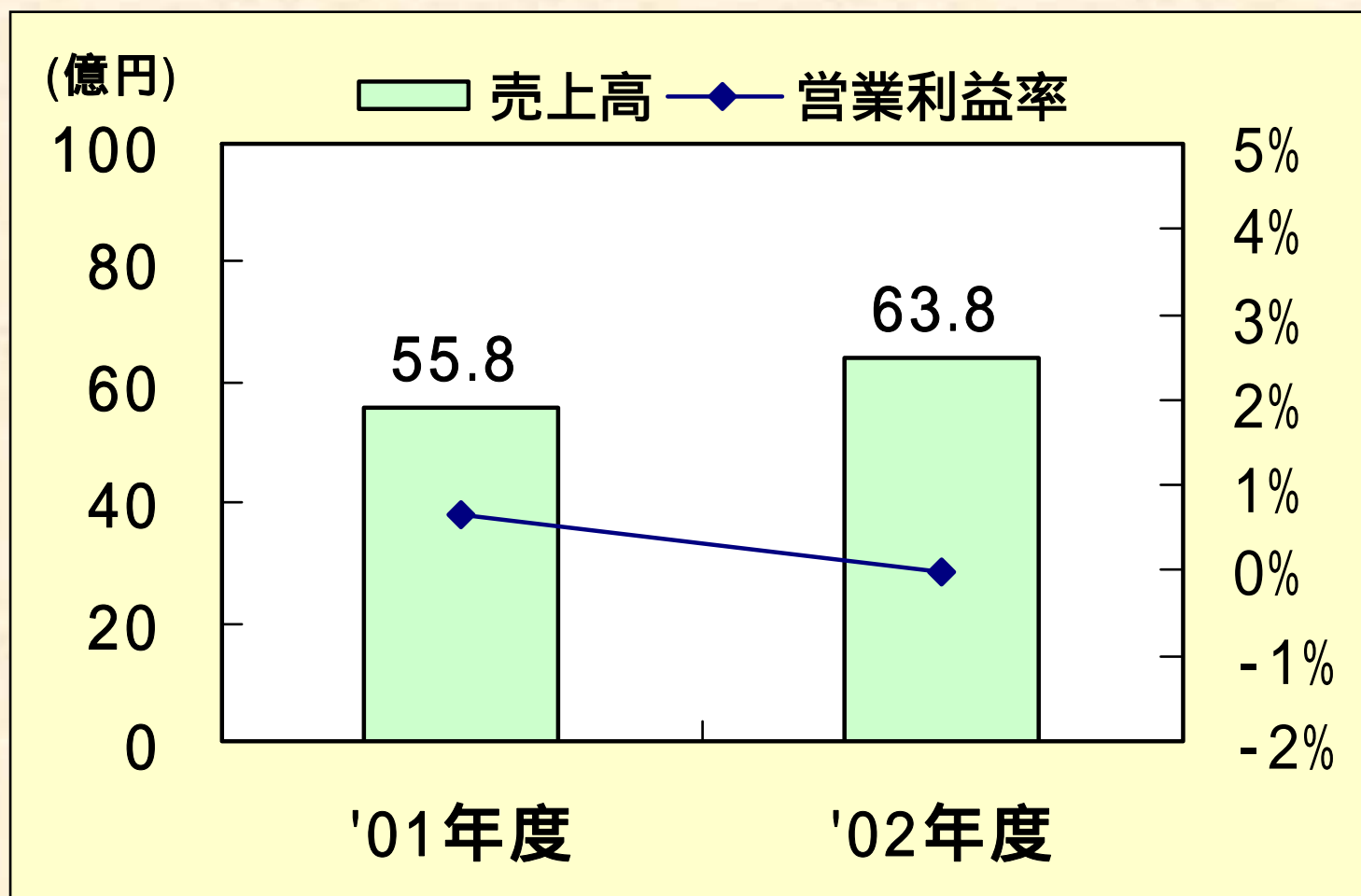
コンクリートミキサー車用減速機



芝刈り機用トランスミッション



## 事業別売上高(連結) 産業機械事業



- ・ 芝刈機用トランスミッションの大幅増加
- ・ 北米経済の景気低迷による大型トラクター用トランスミッション、フォークリフト用トランスミッションの大幅減少



# 損益分析 (連結)

## 経常利益ベース

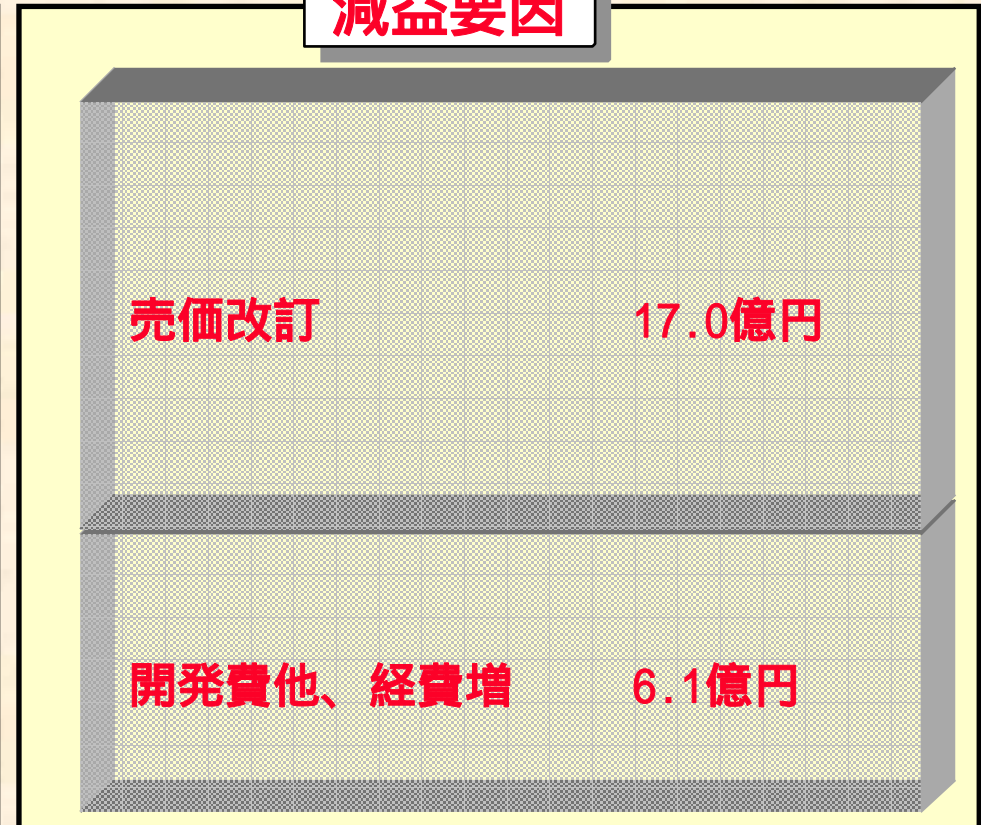
(2001年度と2002年度の比較)

### 増益要因



合計 26.0億円

### 減益要因

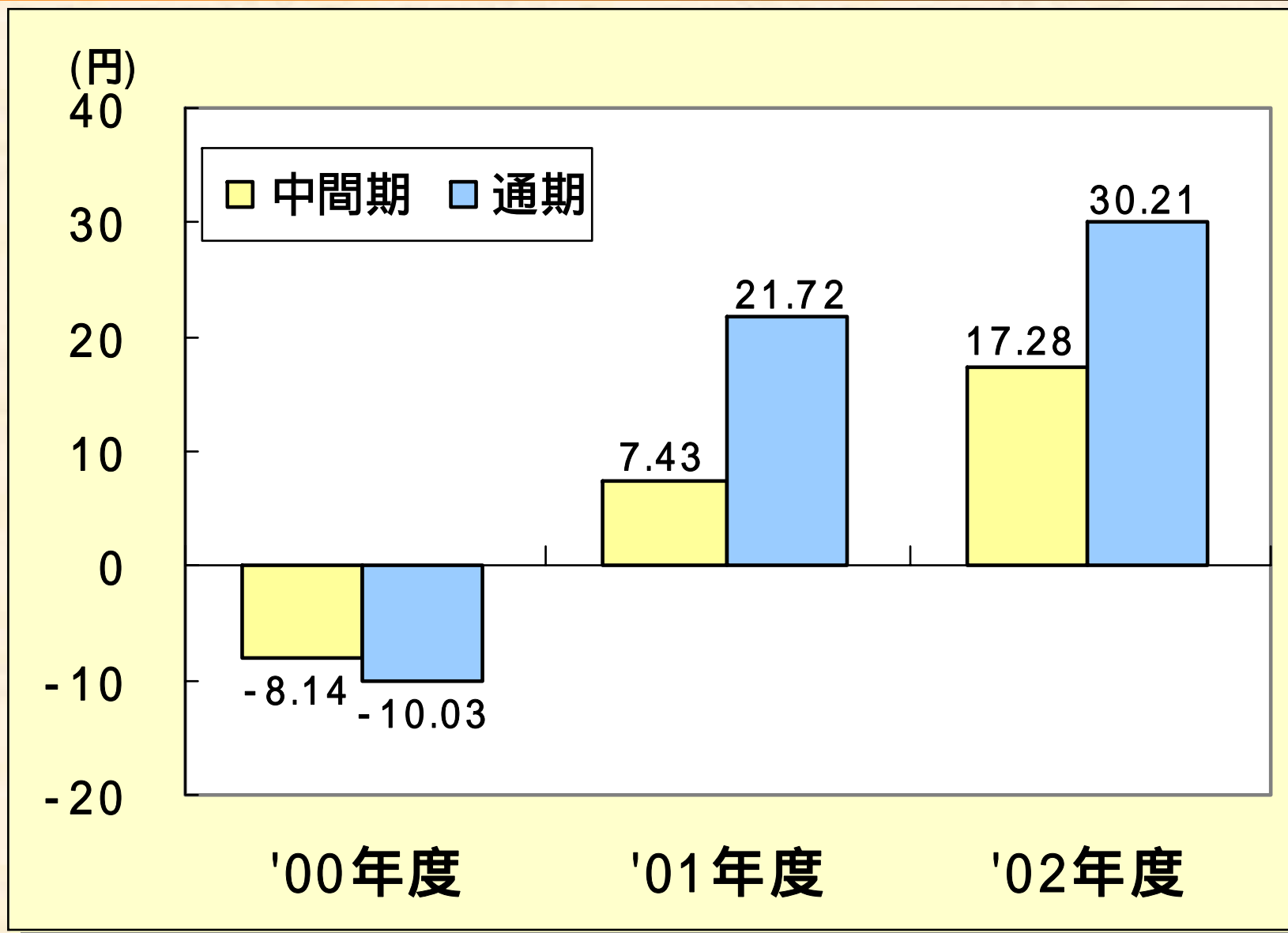


合計 23.1億円

経常利益増 2.9億円



# 1株当たり当期利益推移(連結)





# 貸借対照表(連結)

(単位：億円)

資産				負債・資本			
科目	'02/03	'03/03	増・減	科目	'02/03	'03/03	増・減
<b>流動資産</b>	121.0	115.2	5.7	<b>流動負債</b>	100.3	101.9	1.5
現金・預金	8.6	6.5	2.0	買掛金等	59.0	57.1	1.9
売掛金等	75.5	74.9	0.5	未払費用他	33.3	36.6	3.3
棚卸資産	25.5	23.5	2.0	短期借入金	8.0	8.0	0.0
その他流動資産	11.3	10.1	1.1	<b>固定負債</b>	45.7	39.2	6.4
<b>有形固定資産</b>	121.1	119.0	2.0	長期借入金	21.2	11.3	9.9
無形固定資産	4.5	4.6	0.1	退職給付引当金他	24.5	27.9	3.4
投資等他	24.3	28.3	4.0	少数株主持分	1.3	1.4	0.0
				<b>資本</b>	123.5	124.8	1.1
				(うち当期利益)	3.7	5.4	1.7
<b>資産合計</b>	271.0	267.4	3.6	<b>負債・資本合計</b>	271.0	267.4	3.6

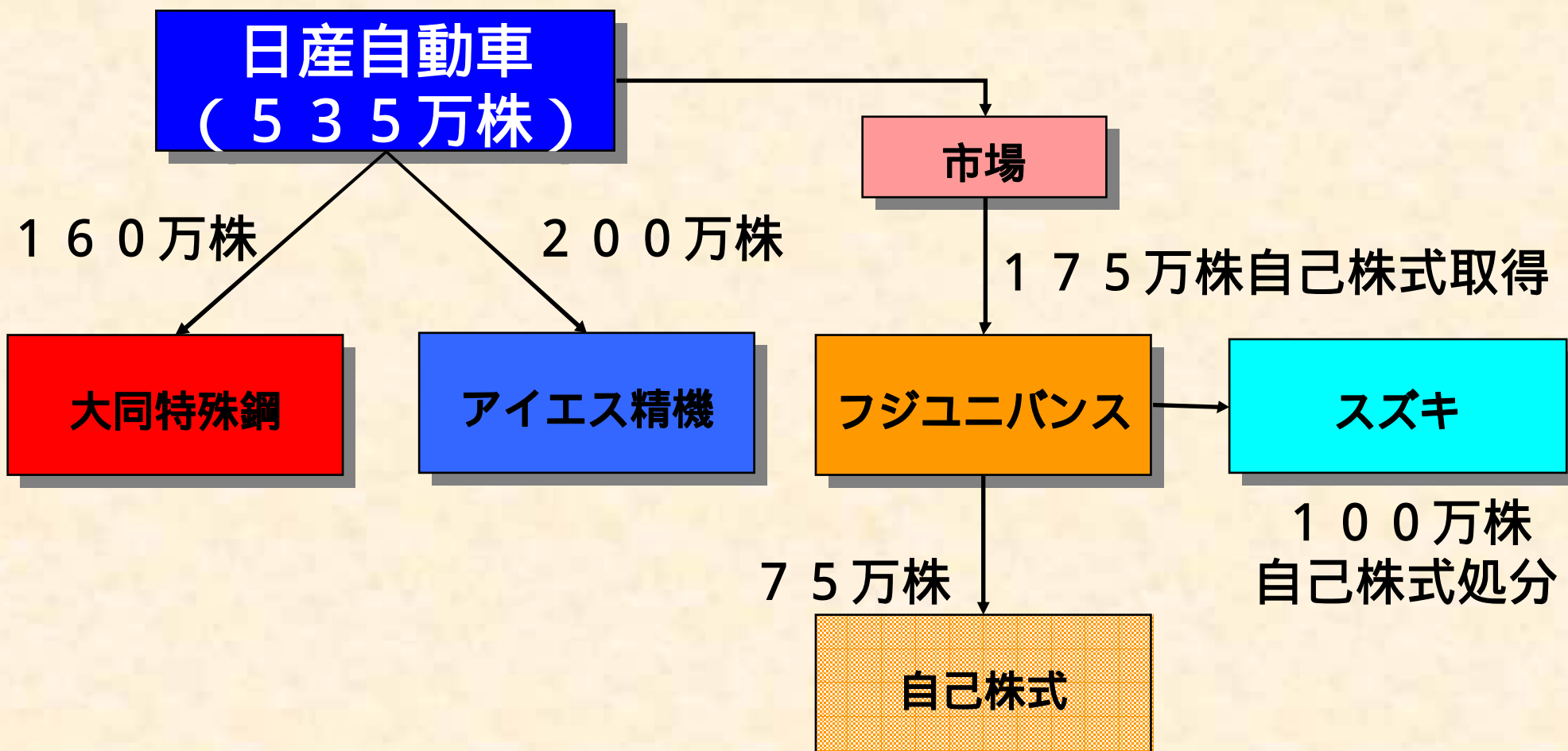
# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)	'01年度	'02年度	主な要因
営業 C/F	23.1	25.8	税金等調整前当期利益:7.5億円,減価償却費:18.1億円 事業構造改革引当金減: 2.0億円,棚卸資産減:1.8億円 退職給付金引当増:3.0億円,その他減: 2.6億円
投資 C/F	5.7	17.4	有形固定資産取得:12.8億円,有価証券取得:4.4億円
フリー C/F	17.4	8.4	
財務 C/F	32.7	10.2	長期借入金返済減: 9.4億円
C / F計	15.1	1.9	
現預金残高	8.1	6.2	



## フジユニバンス株の移動(2003年1~4月)

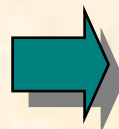
日産自動車は、「日産リバイバル・プラン」からの一環として、  
日産自動車が保有していた  
フジユニバンス株式の全株式535万株(31%)を放出



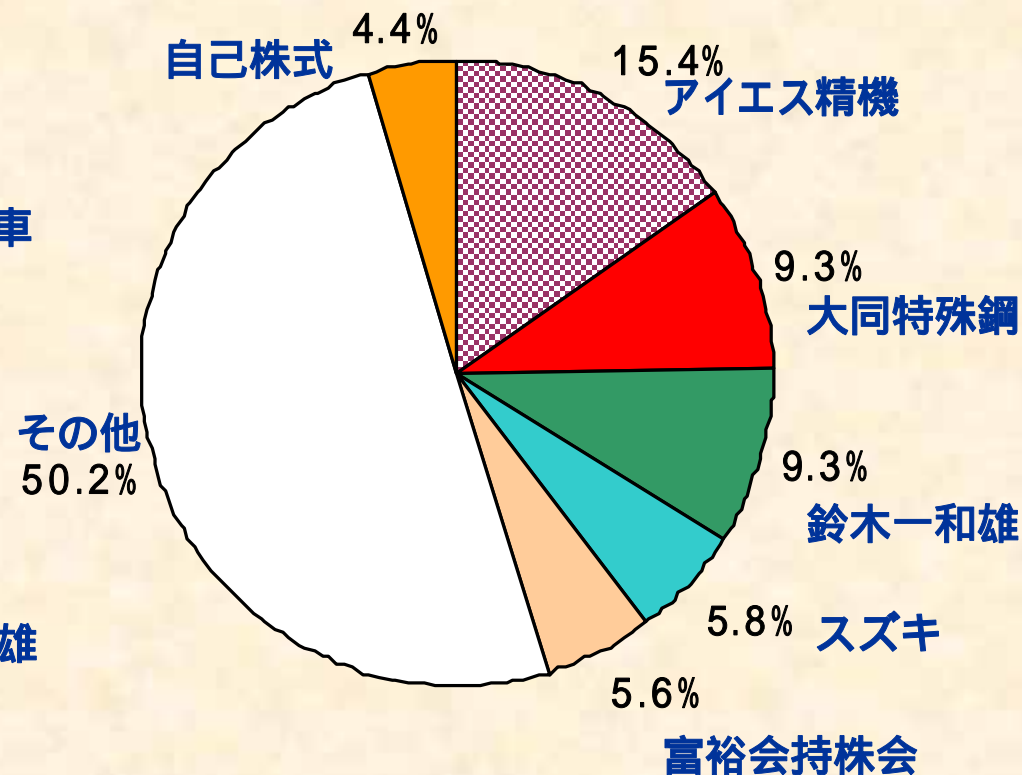
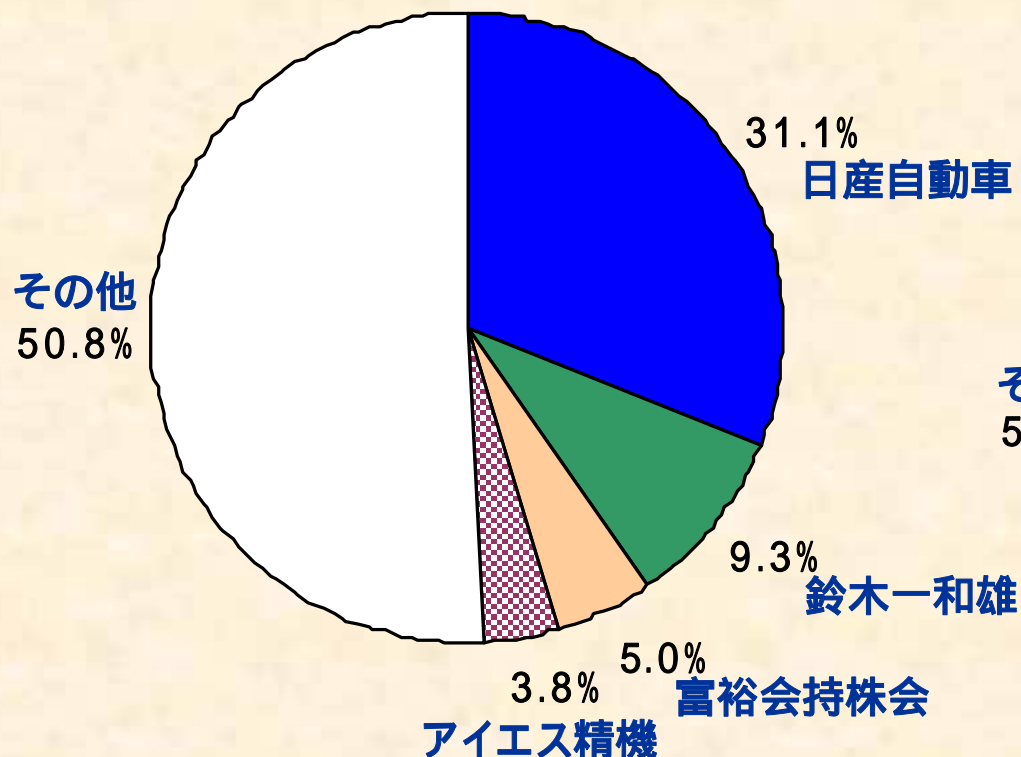


# 株主構成比率の変化

2002年4月



2003年4月





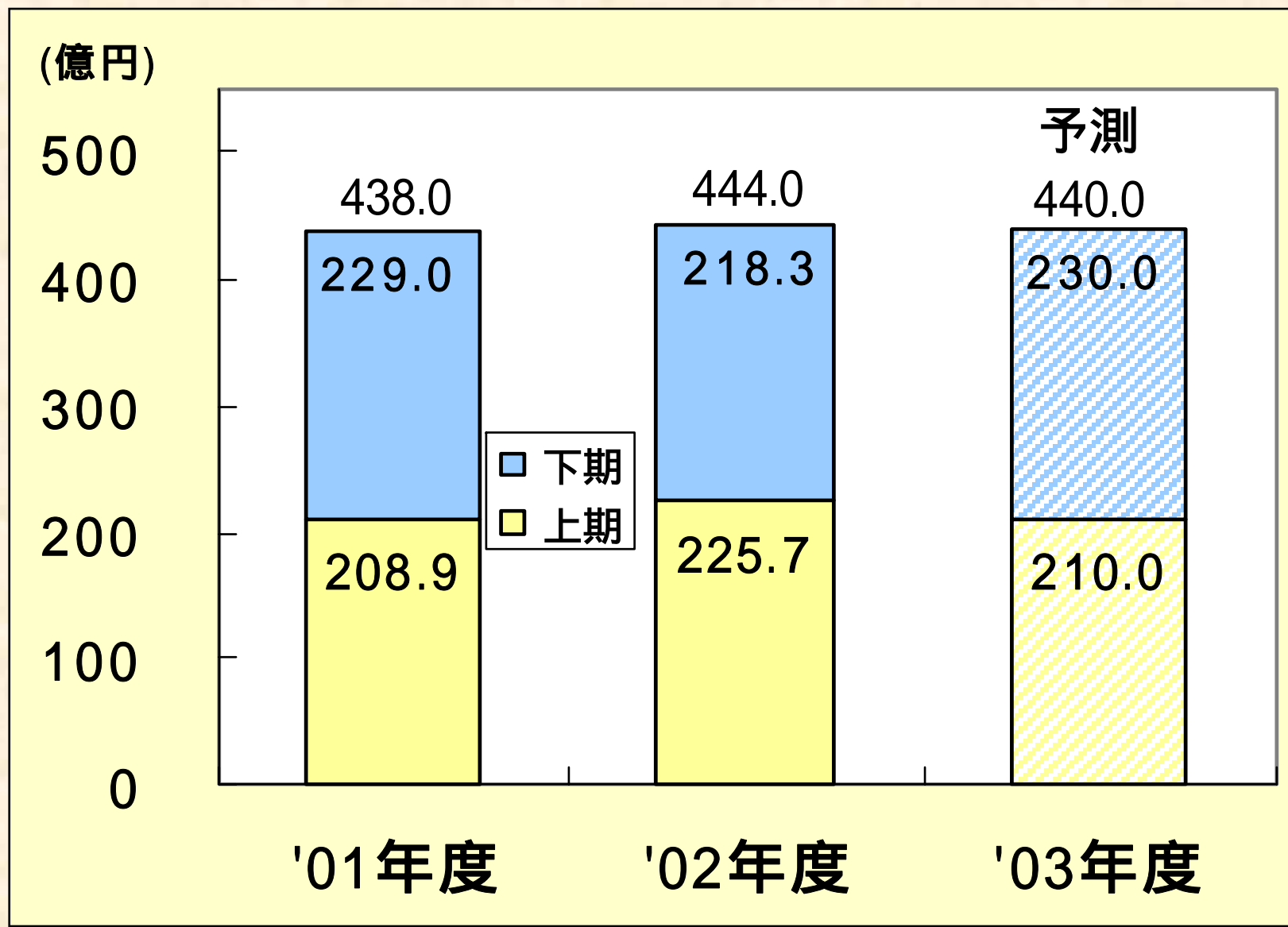
・ 2004年3月期業績予想

---

# ・ 2004年3月期業績予想

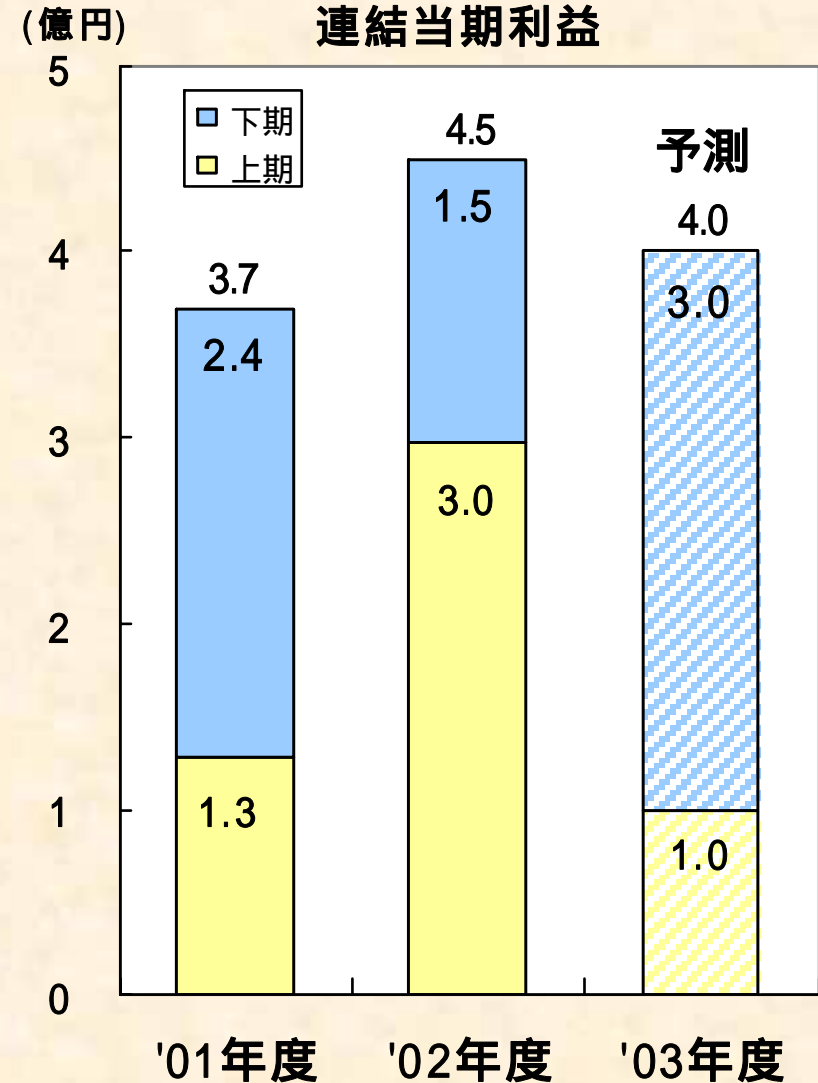
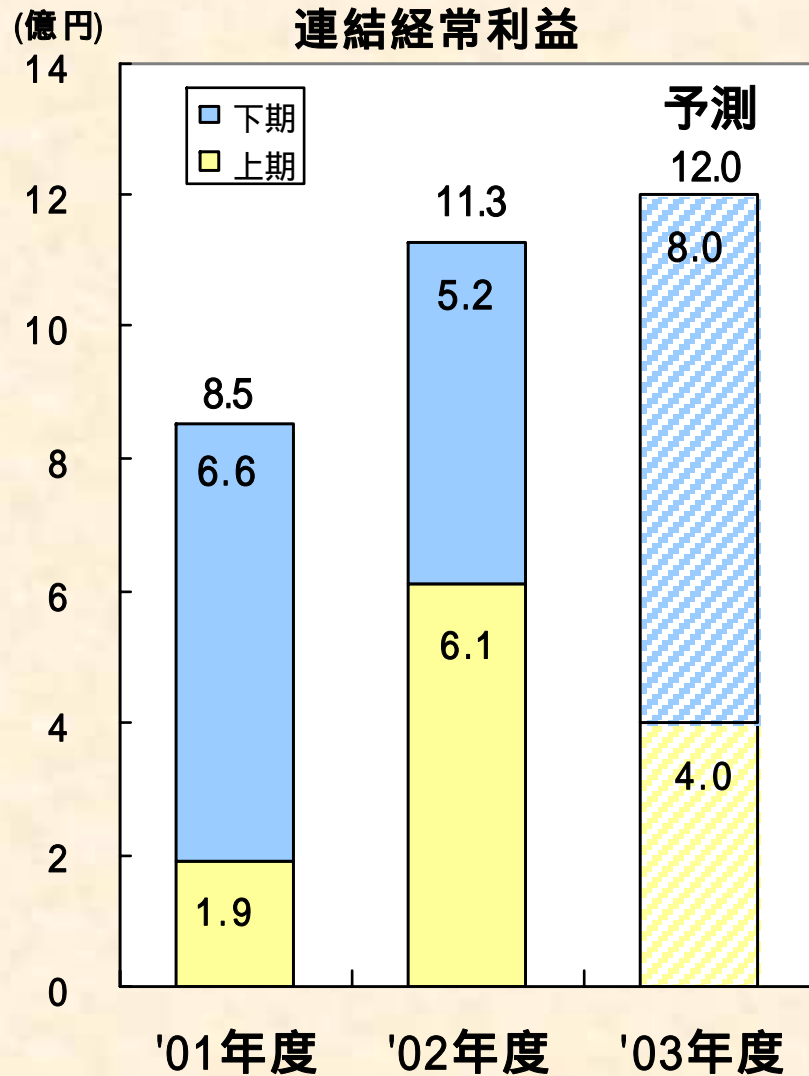


# 2004年3月期 連結売上高予想





# 2004年3月期 連結 經常利益、当期利益予想





## 2004年3月期 業績予想

(単位:億円)	2002年度通期実績			2003年度通期予想		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	444.0	418.3	1.06	440.0	420.0	1.05
営業利益	8.7	4.8	1.81	9.0	6.5	1.38
経常利益	11.3	7.4	1.53	12.0	8.5	1.41
当期利益	5.4	1.9	2.84	4.0	2.5	1.60



# ・ 2003年度の重点課題と取組内容



## V04 中期経営計画の達成状況

経営指標	V04 ('05年3月目標)	'02年度実績	'03年度見通し
ROA	7.0%以上	3.30	3.50
総資産回転率	1.75以上	1.65	1.75
営業利益率	4.0%以上	2.0	2.0
'06年度売上高	500億円以上	達成	

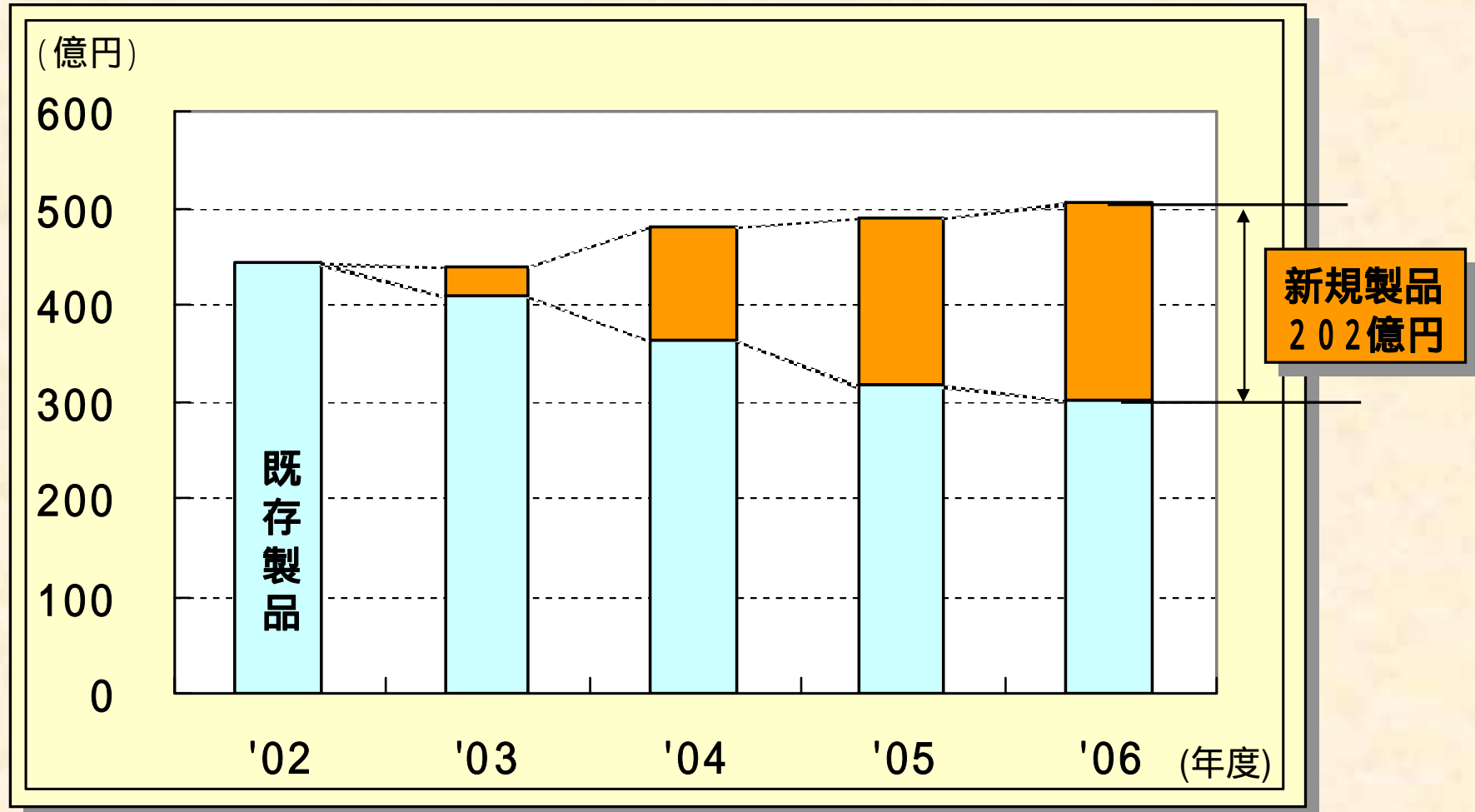
- ・ 売上高の見通しは、2年前倒しで達成した。
- ・ 有利子負債を4年間で1/4（連結）に削減した。  
1/5（単体）に削減した。
- ・ **重点課題は、営業利益率の達成。**

# 新規製品拡販実績

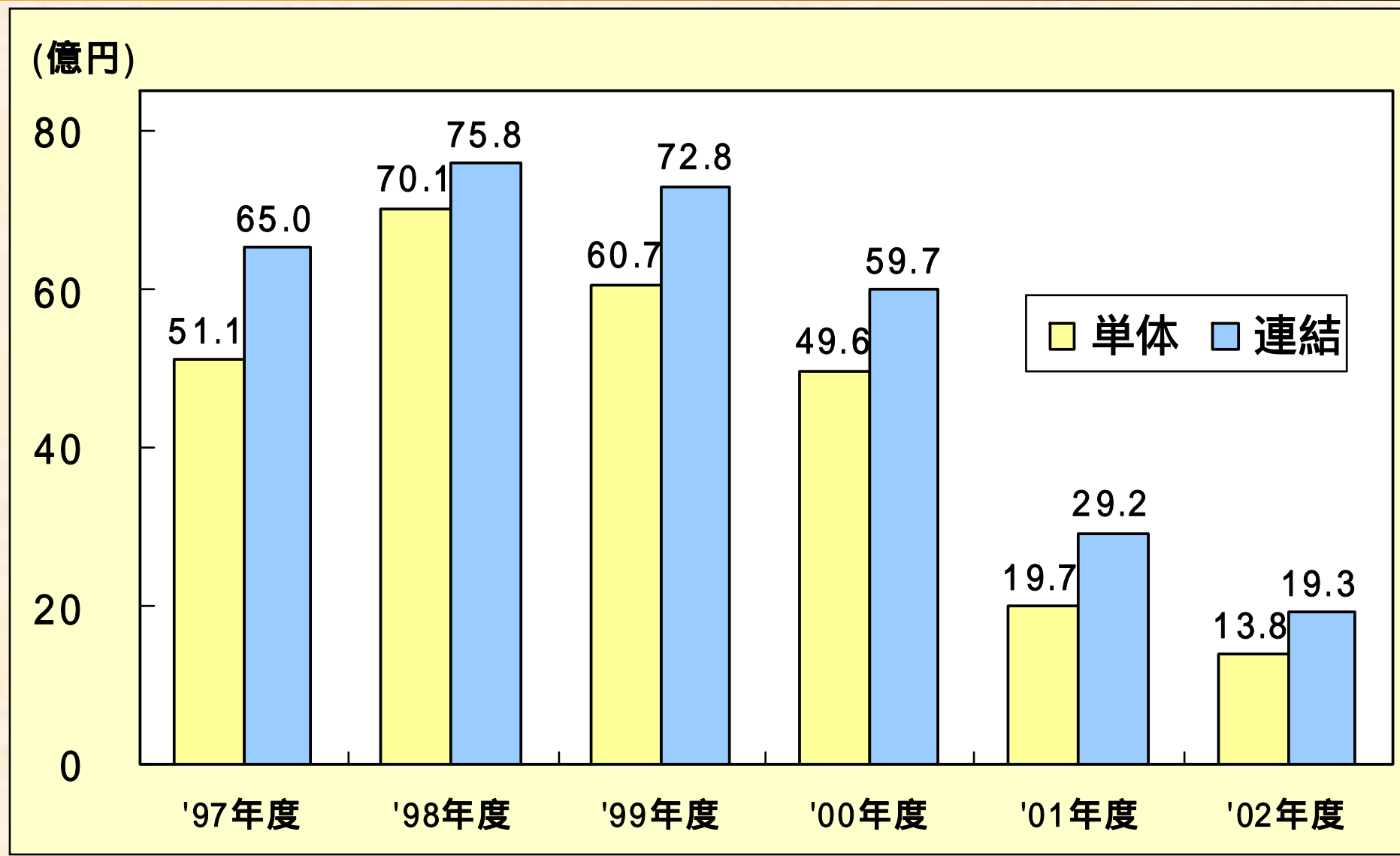
事業	商品名	立上時期				売上高予測 (年間)
		'03	'04	'05	'06	
M / T	商用車 M/T	→				202億円
	海外向け M/T部品	→				
四駆	SUV,ピックアップ T/F	→→	→		→	
	ATV用デフユニット	→				
AT・部品	ATユニット部品群	→	→	→		
	駆動系部品	→				
産業機械	コンバインギアボックス	→				
	フォークリフト ATM		→	→		
	バッテリーフォークリダクション		→			
	コンクリートミキサー用減速機		→			



## 2002年度拡販実績による売上高予測(連結)

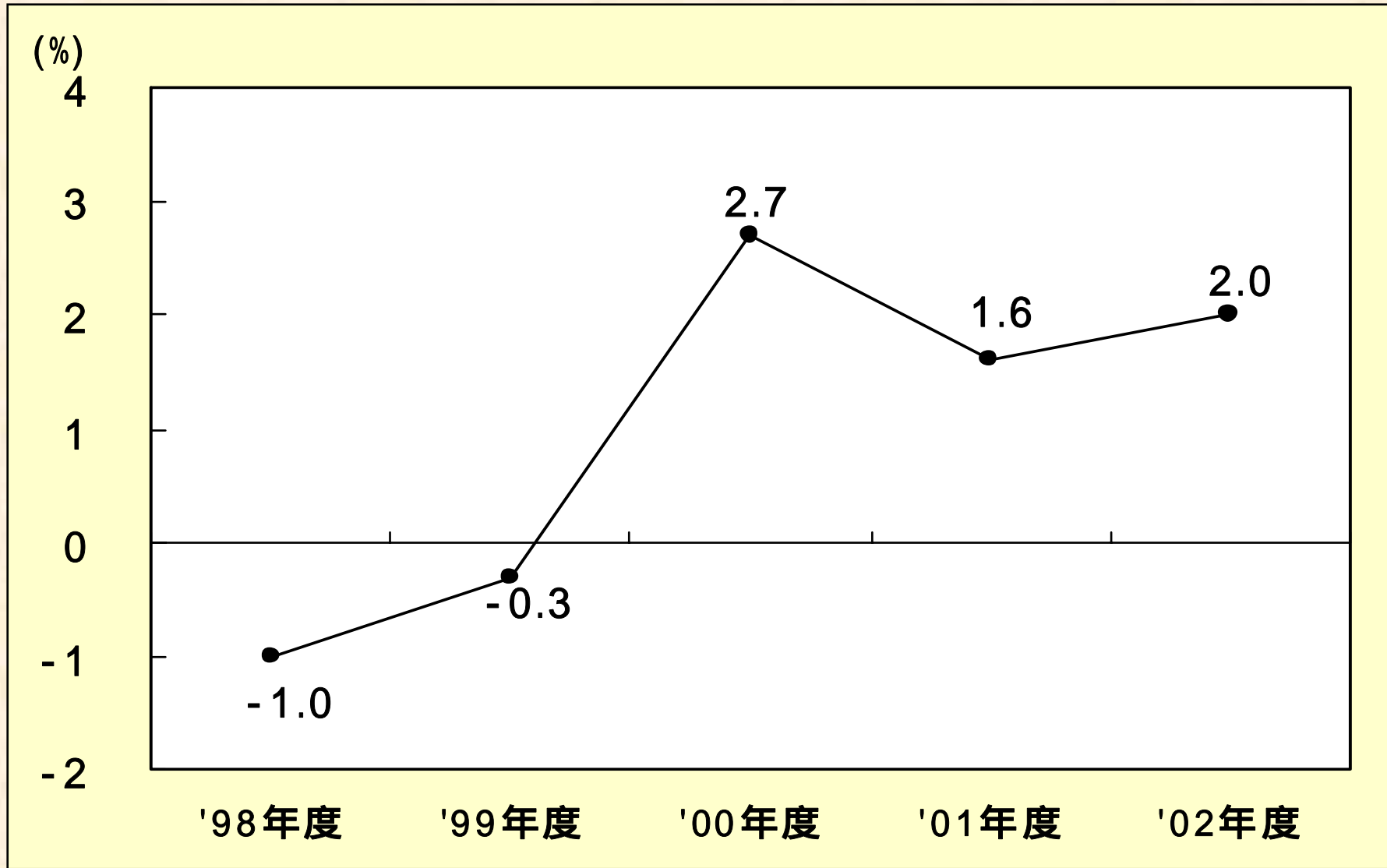


# 有利子負債の推移





## 連結営業利益率推移





## 2003年度の重点課題

### 製品毎の競争力強化による事業価値向上

- ・新製品のQCDの必達と原価改善
- ・既存製品の収益性、資産効率の向上

### 市場ニーズを把握した駆動系新商品の開発

- ・次世代車両にマッチしたパワートレインユニットの開発強化
- ・グローバルなコスト競争力ある商品開発とモノ造り

### 技術開発力の向上

- ・新技術による低コストな生産の実用化
- ・粗材開発、技術対策まで踏み込んだ材料、外注費の原低活動

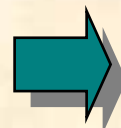


- ・ **新たな経営体制の確立**
  - 1 ． **執行役員制度の導入**
  - 2 ． **アイエス精機との業務提携**

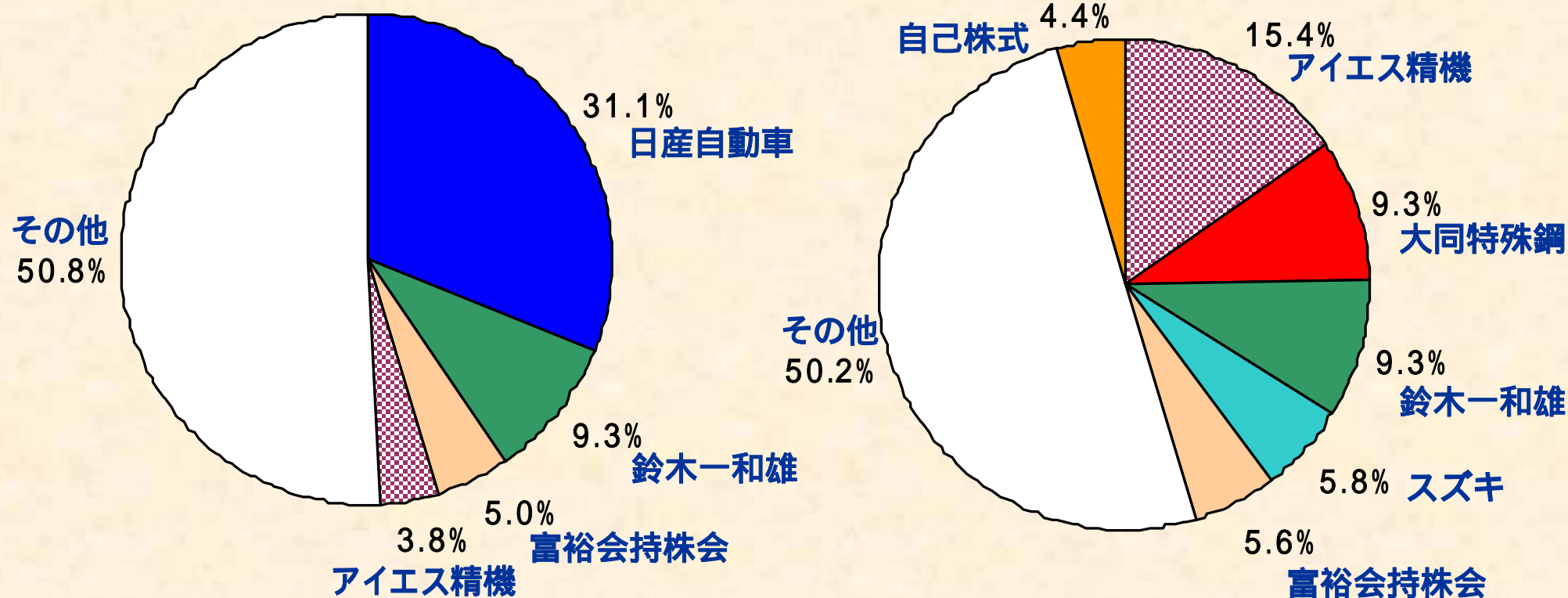
# 執行役員制の導入

## 株主構成比率の変化

2002年4月持株比率



2003年4月持株比率



## 執行役員制の導入

- ・日産自動車は、大株主であり、主要顧客であった。
- ・今後も主要顧客である。
- ・今までは、グループの傘の元での事業運営
- ・今後は、自己責任による事業運営(マーケティング、開発、生産、経営)



系列メーカーから独立メーカーへ

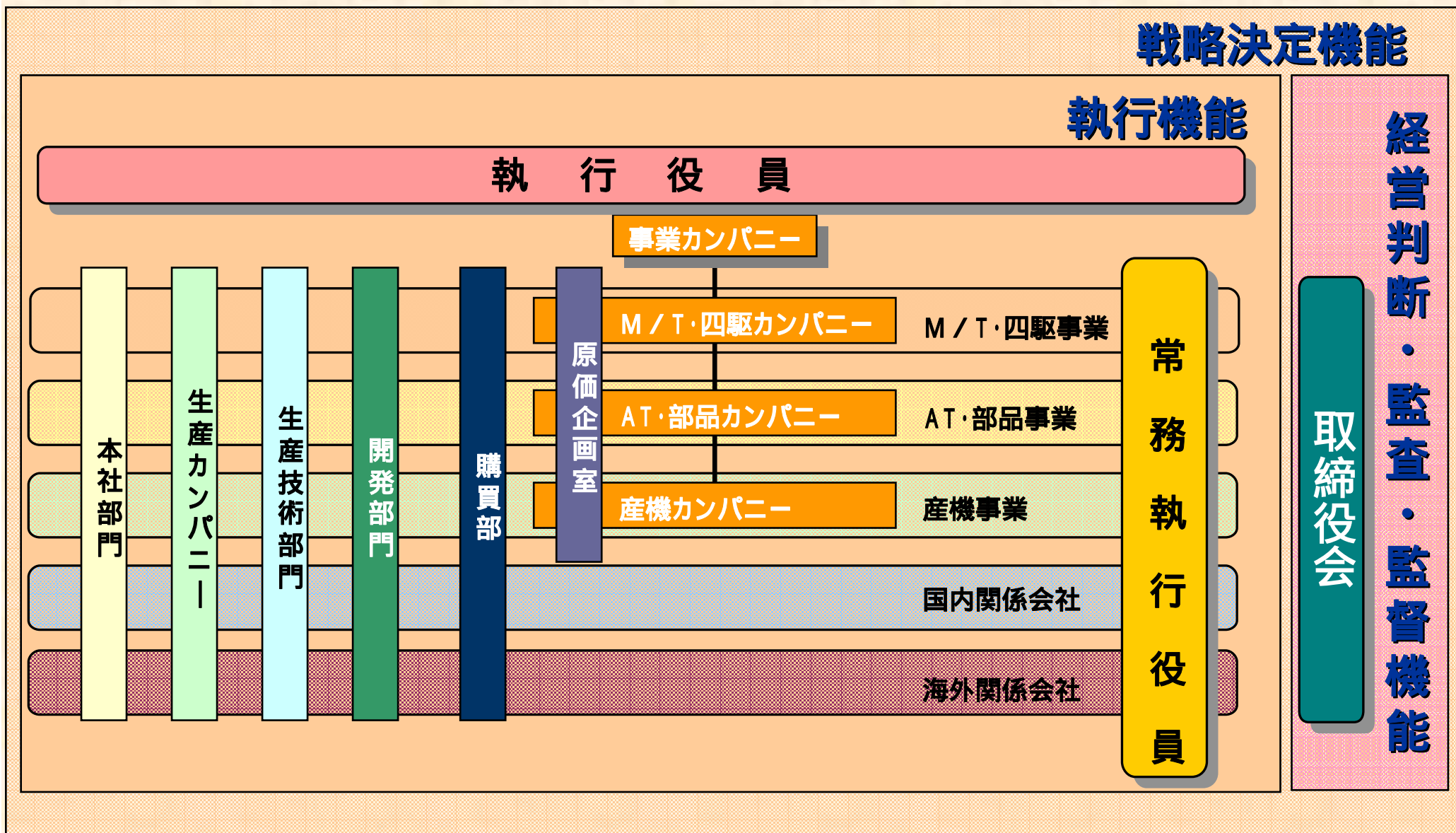
# 執行役員制の導入

- ・事業価値を軸とした戦略決定を行う経営とその執行の専任体制
- ・上記を機動的に実行する体制



**執行役員制度の導入**

# 執行役員制の導入



# アイエス精機との業務提携

自動車メーカーとサプライヤーとの系列崩壊

海外を含めた競合サプライヤーの新規参入

グローバルレベルでのサプライヤー間の競争が激化

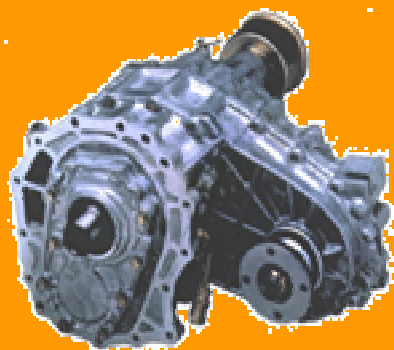
単独による企業努力だけでは、  
グローバル競争に勝ち残るのは困難

グローバル競争に勝ち残るための  
包括的業務提携

# アイエス精機との業務提携

自動車メーカーを中心とした  
グローバルなビジネスの拡大

駆動系ユニットの開発技術と  
加工技術を活かしたユニット事業



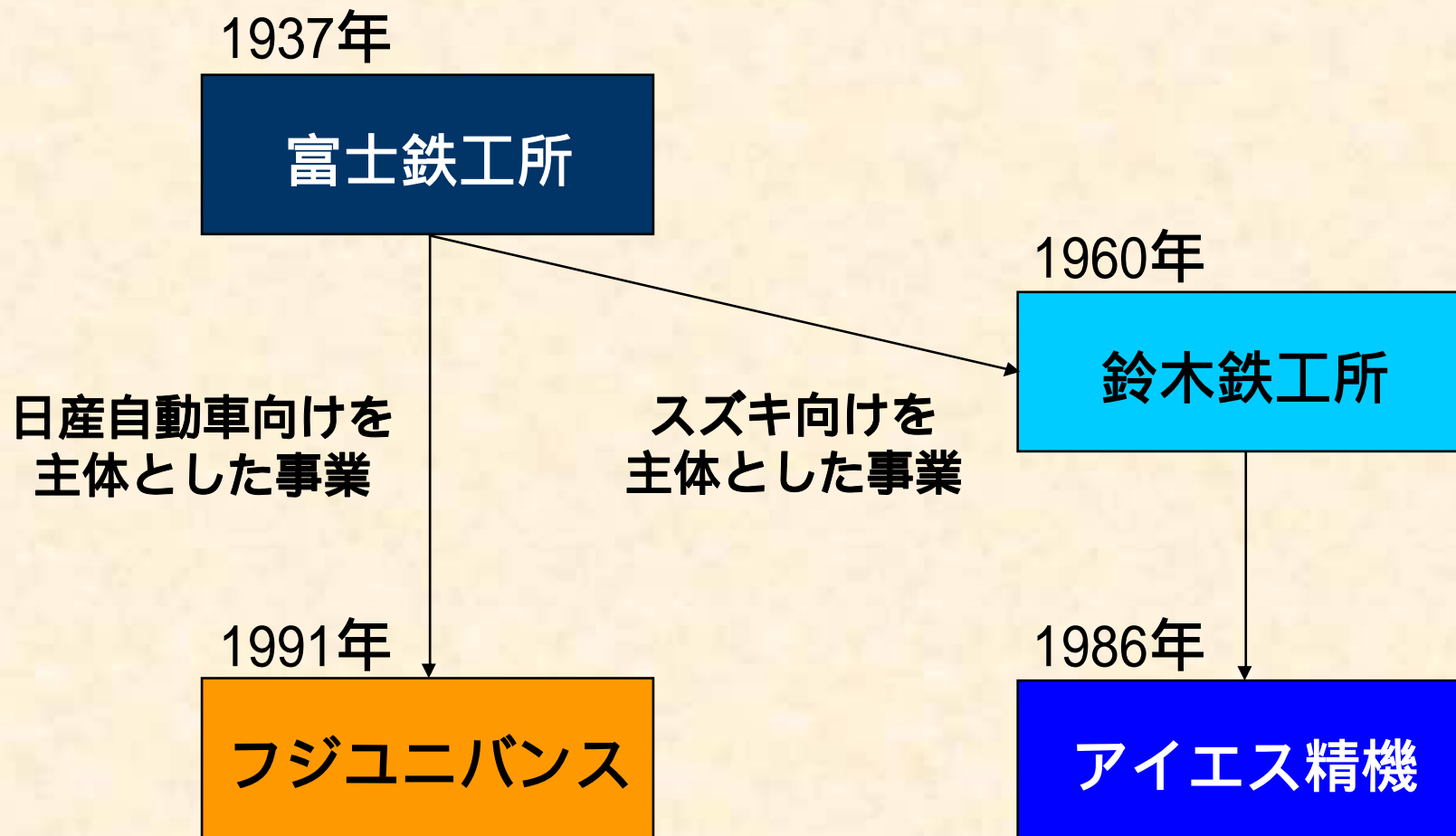
フジユニバンス

粗材から機械加工までの一貫した  
生産技術を活かした部品事業


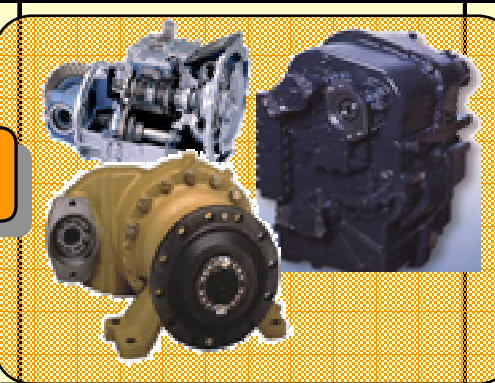
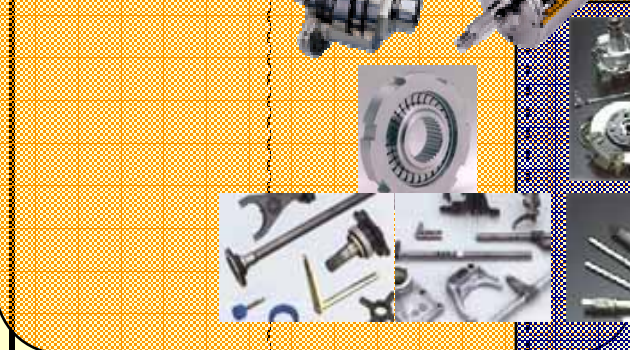
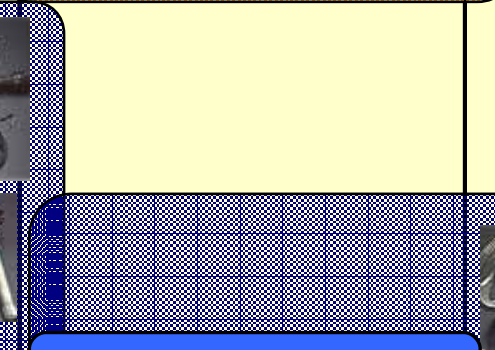
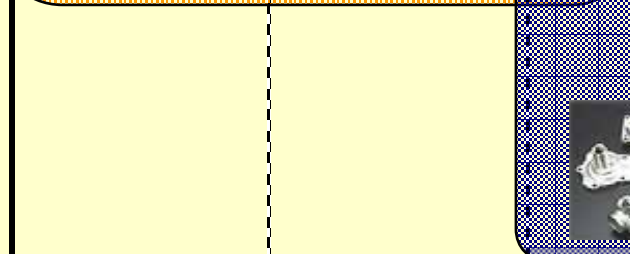
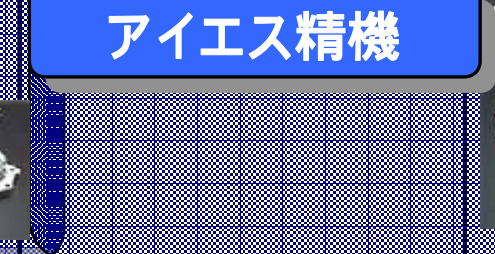
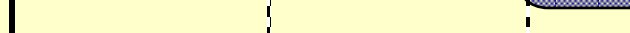



アイエス精機

# アイエス精機との業務提携

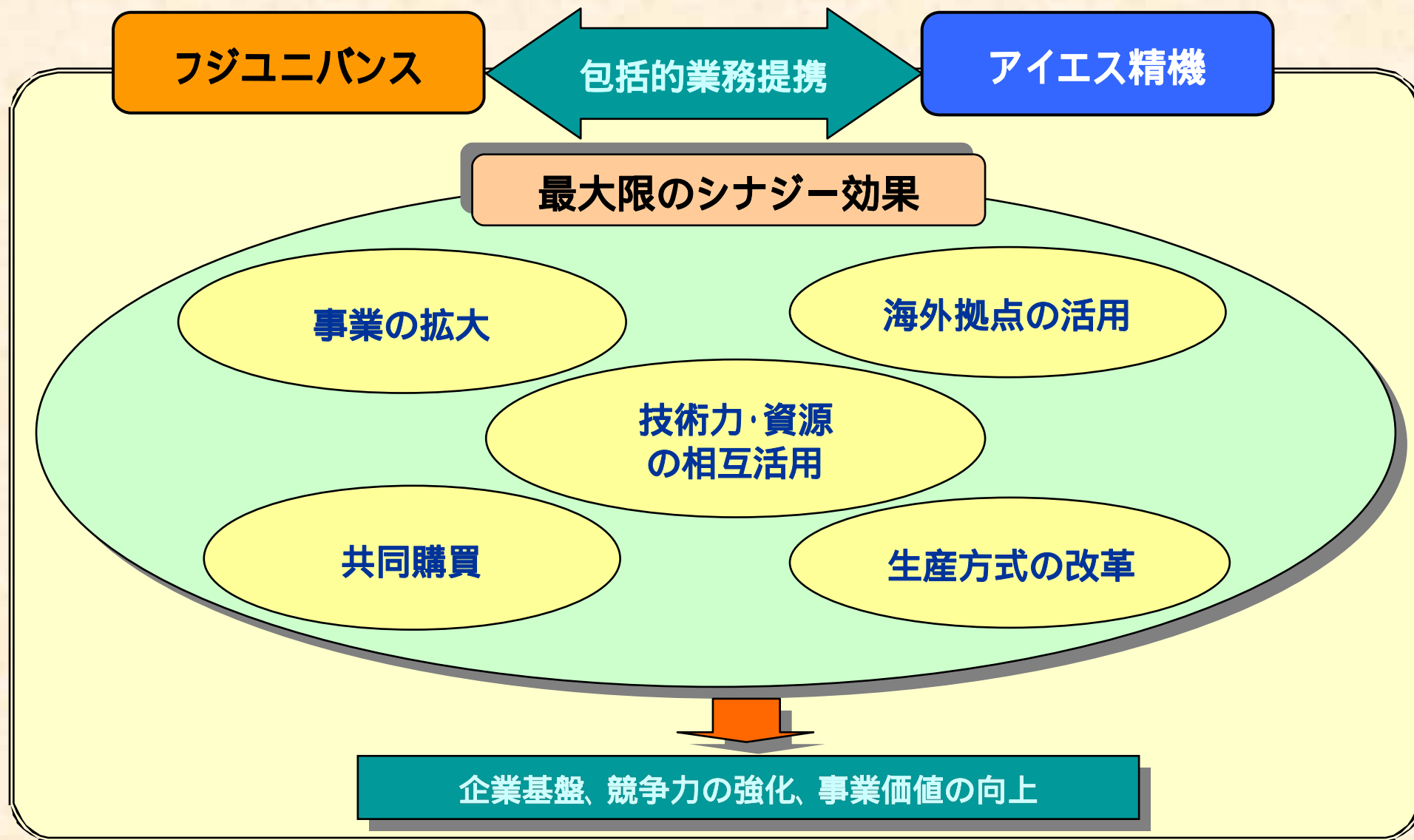


# フジユニバンスとアイエス精機の商品領域

	自動車			産業機械・農機	2輪車
	トラック・RV	乗用車	軽自動車		
ユニット	 <p style="text-align: center;"><b>フジユニバンス</b></p>				
コンポーネント					
部品				 <p style="text-align: center;"><b>アイエス精機</b></p>	
材料					



# 業務提携による協力体制





**Unique Advancement in Human Resources and High Technologies**

**FUJI UNIVANCE CORPORATION**

<http://www.uvc.co.jp/>